

第3章 一般高齢者調査の結果

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

1 回答者の属性

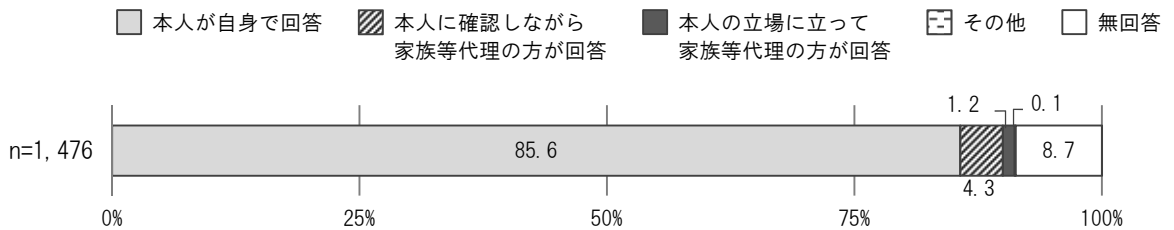
問1 この調査票はどなたが回答されますか。（1つに○）

資料編：P199

▶回答者は、「本人が自身で回答」が85.6%

・調査票の回答者は、「本人が自身で回答」が85.6%、「本人に確認しながら家族等代理の方が回答」が4.3%となっている。[図表3-1]

図表3-1 調査票の回答者



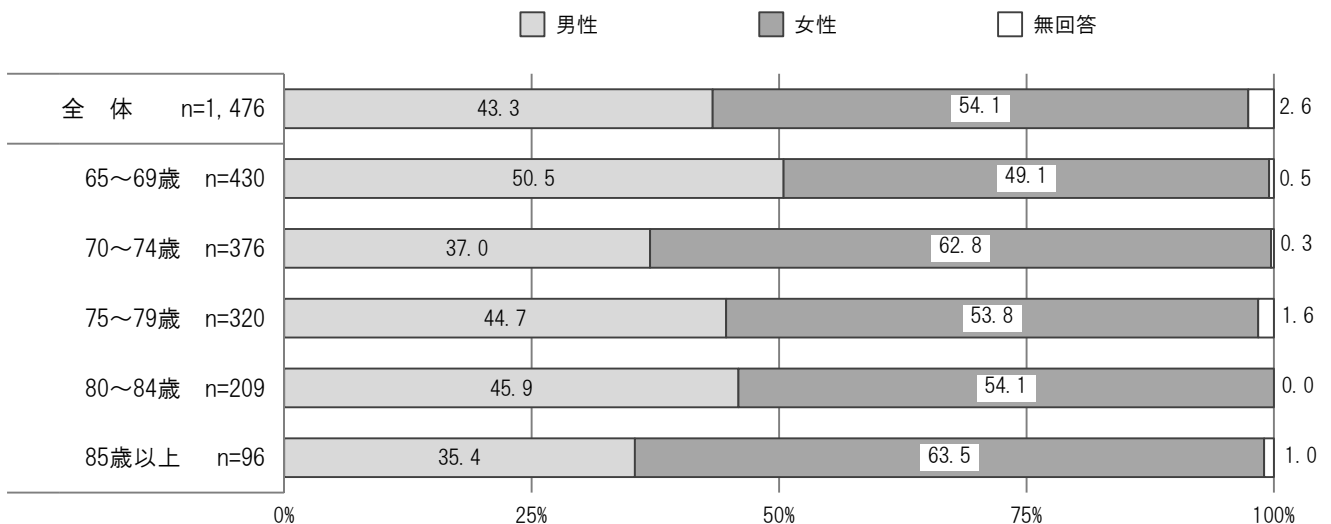
問2 あなた（あて名のご本人）の性別と、平成28年9月1日現在の満年齢をお答えください。

資料編：P199、P200

▶性別は、男性が43.3%、女性が54.1%

・年齢別にみると、男性は65～69歳が50.5%、女性は85歳以上が63.5%で最も高くなっている。[図表3-2]

図表3-2 性別／年齢別



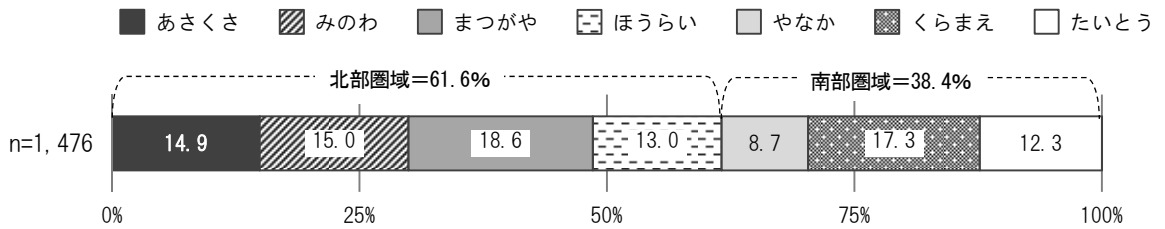
問3 お住まいはどこですか。記入例を参考に記入してください。丁目がない場合は、町名だけ記入してください。

資料編：P200

▶ 圏域は、「北部圏域」が61.6%

・地域包括支援センター区域は、「まつがや」が18.6%で最も高く、次いで「くらまえ」が17.3%、「みのわ」が15.0%となっている。[図表3-3]

図表3-3 地域包括支援センター区域



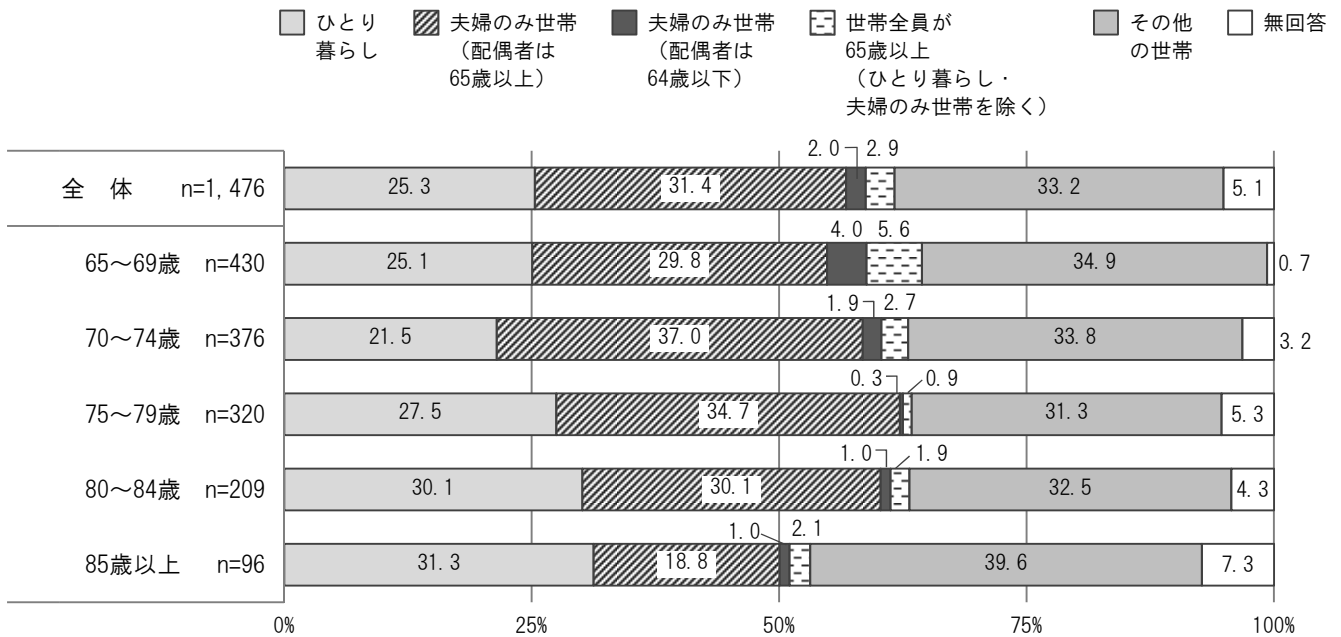
問4 あなたのご家族の構成は、次のうち、どれにあてはまりますか。（1つに○）

資料編：P201

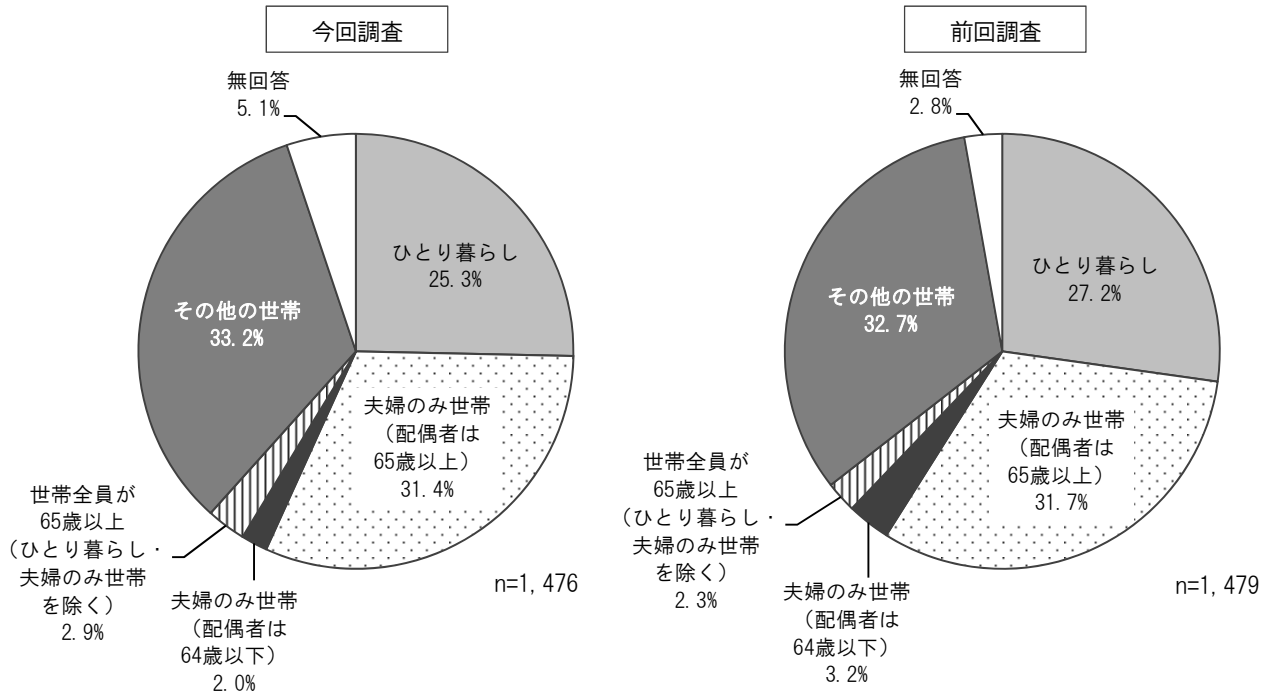
▶ 家族構成は、夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）が31.4%

・年齢別にみると、ひとり暮らしは85歳以上が31.3%で最も高く、夫婦のみ世帯（配偶者は65歳以上）は70～74歳が37.0%で最も高くなっている。[図表3-4]

図表3-4 家族構成／年齢別



図表 3-5 家族構成／経年比較



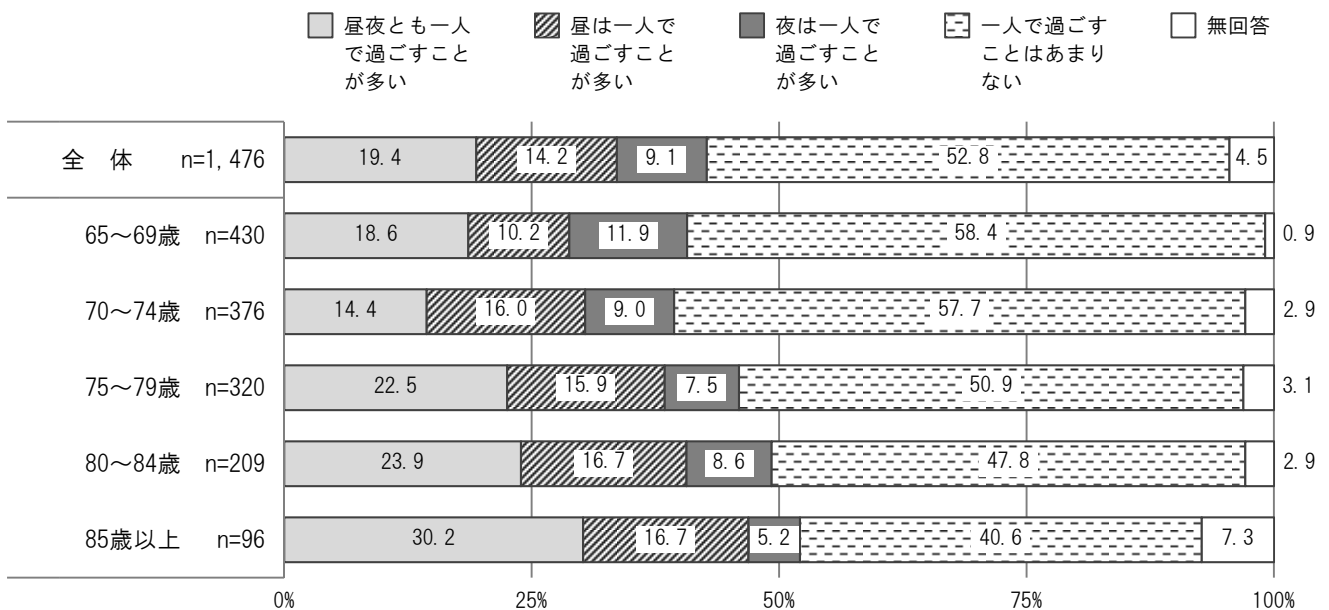
問5 1日の中で、一人になることがありますか。(1つに○)

資料編：P201

▶ 1日の中で「一人で過ごすことはあまりない」が 52.8%、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」が 19.4%

・年齢別にみると、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は85歳以上が30.2%で最も高く、次いで80～84歳が23.9%となっている。[図表 3-6]

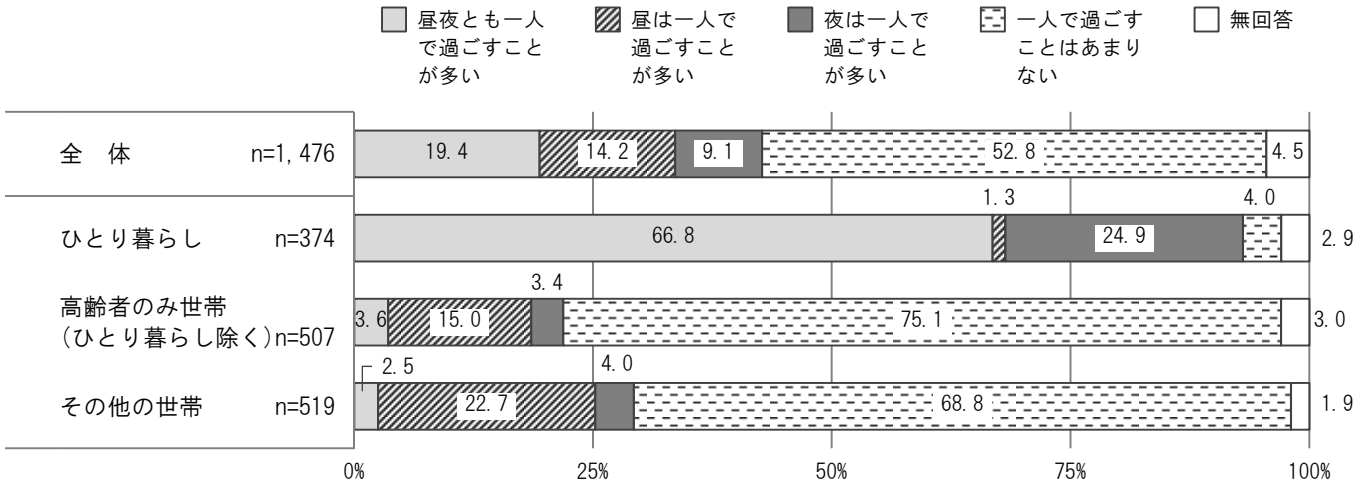
図表 3-6 日中独居の状況／年齢別



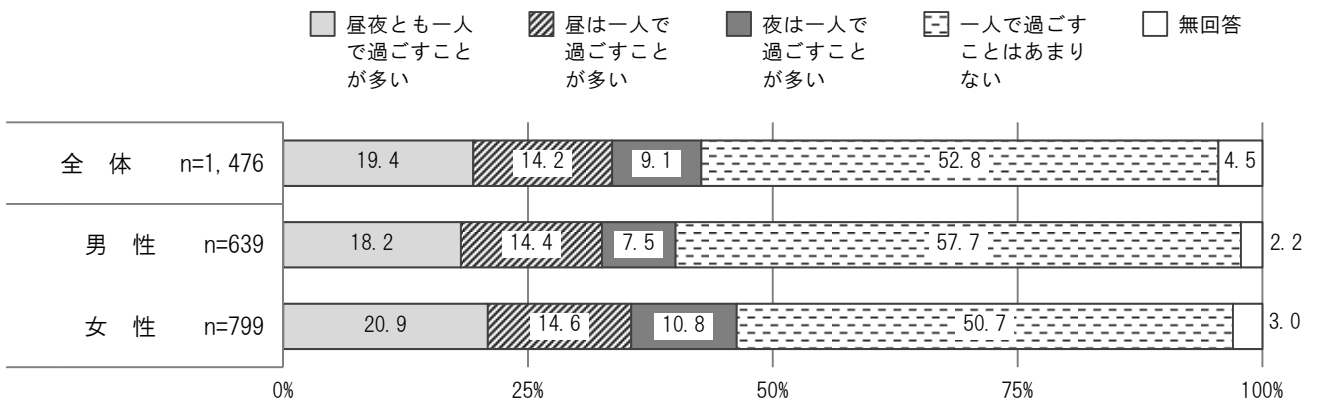
第3章 一般高齢者調査の結果

- ・家族構成別にみると、ひとり暮らしは「昼夜とも一人で過ごすことが多い」が66.8%となっている。[図表3-7]
- ・性別にみると、男女とも「一人で過ごすことはあまりない」が各57.7%、50.7%となっている。[図表3-8]

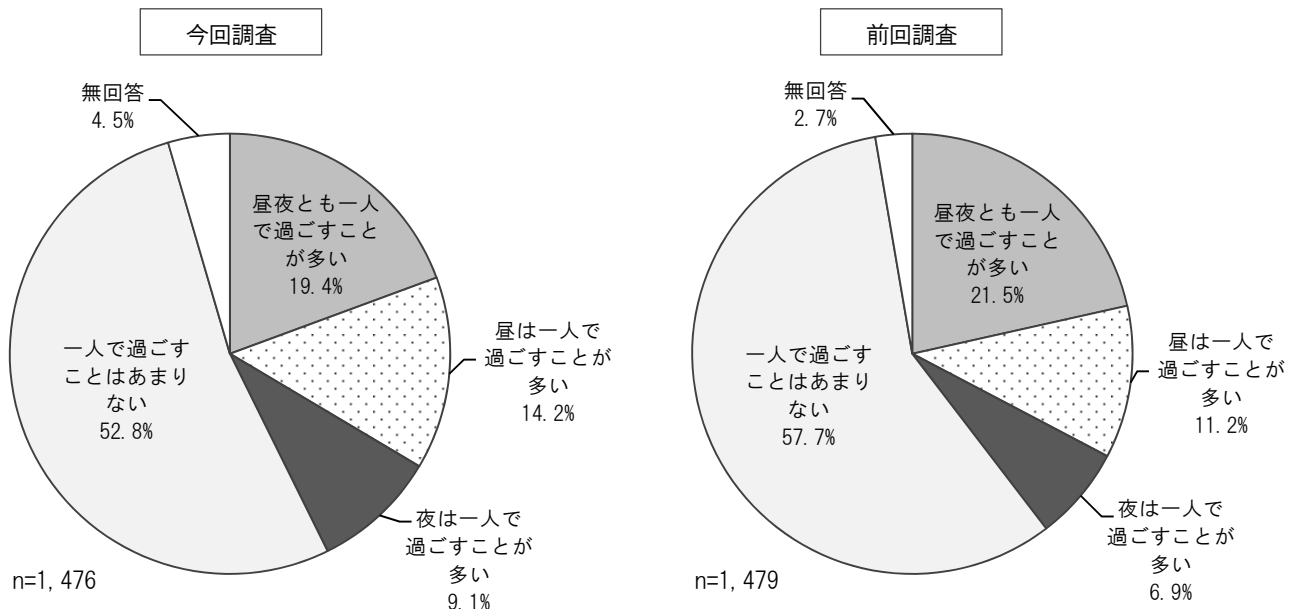
図表3-7 日中独居の状況／家族構成別



図表3-8 日中独居の状況／性別



図表3-9 日中独居の状況／経年比較



問6 緊急時に連絡をとるのはどなたですか。

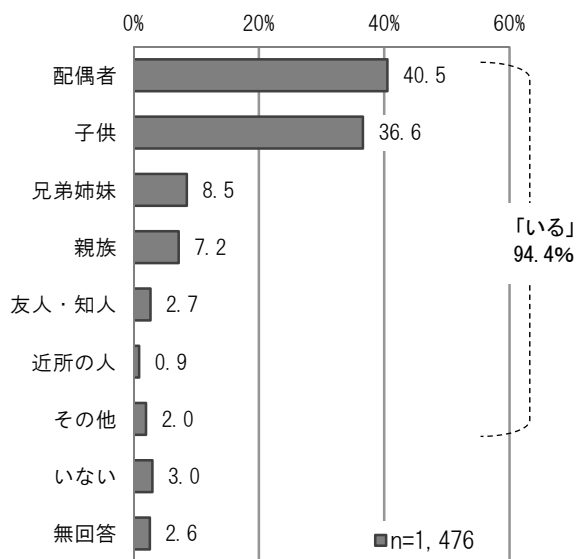
注) 調査票では1つ選択の設問だが、複数選択がみられるため、複数回答として集計している。

資料編：P202

▶ 「緊急時に連絡をとる相手」がいるは94.4%

- ・緊急時に連絡をとる相手は、「配偶者」が40.5%で最も高く、次いで「子供」が36.6%となっている。[図表3-10]
- ・家族構成別にみると、ひとり暮らしの緊急時に連絡をとる相手は、「子供」が40.9%、「兄弟姉妹」が23.3%となっている。また、「いない」が10.2%となっている。[図表3-11]

図表3-10 緊急時に連絡をとる相手（複数回答）



※ 「いる」 = 100% - 「いない」 - 「無回答」

図表3-11 緊急時に連絡をとる相手（複数回答）／家族構成別

単位：%

項目	回答者数 (人)	配偶者	子供	兄弟姉妹	親族	友人・知人	近所の人	その他	いない	無回答	
全体	1,476	40.5	36.6	8.5	7.2	2.7	0.9	2.0	3.0	2.6	
家族構成	ひとり暮らし	374	0.8	40.9	23.3	13.1	7.5	3.2	3.5	10.2	1.1
	世帯全員65歳以上(ひとり暮らし除く)	507	65.9	27.0	3.4	4.9	1.6	—	0.6	1.0	0.4
	その他の世帯	519	48.4	43.2	2.7	5.6	0.6	0.2	1.5	0.4	1.0

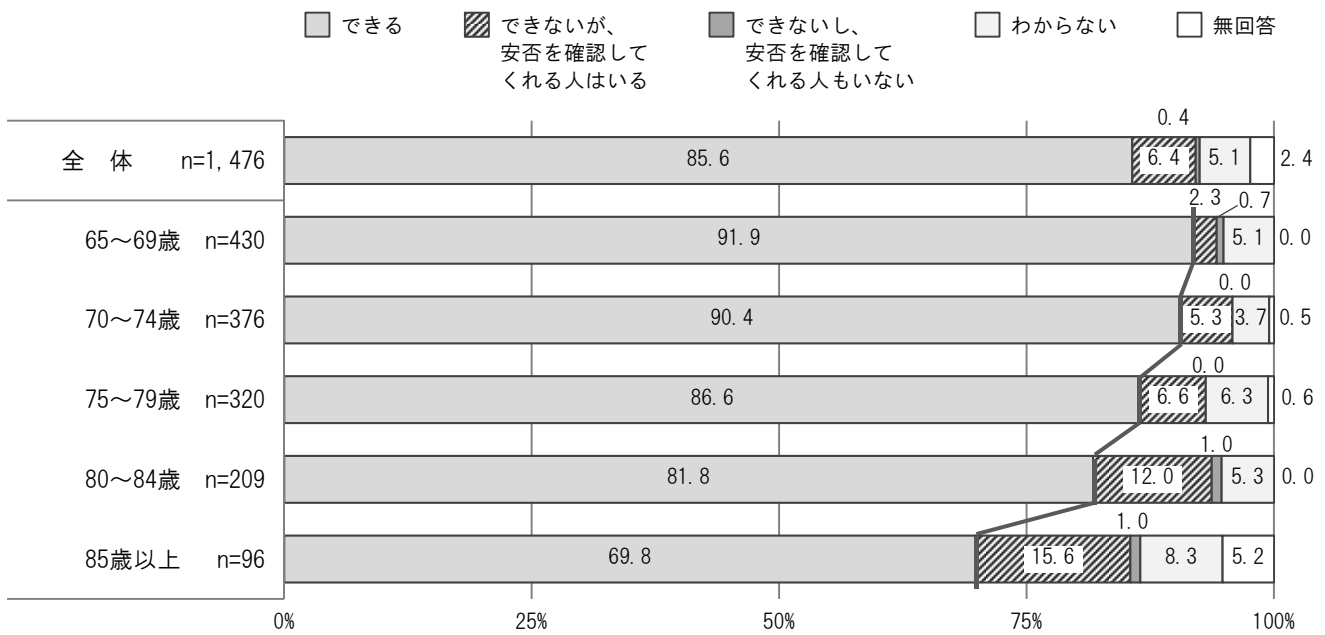
問7 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に、一人で避難することはできますか。（1つに○）

資料編：P203

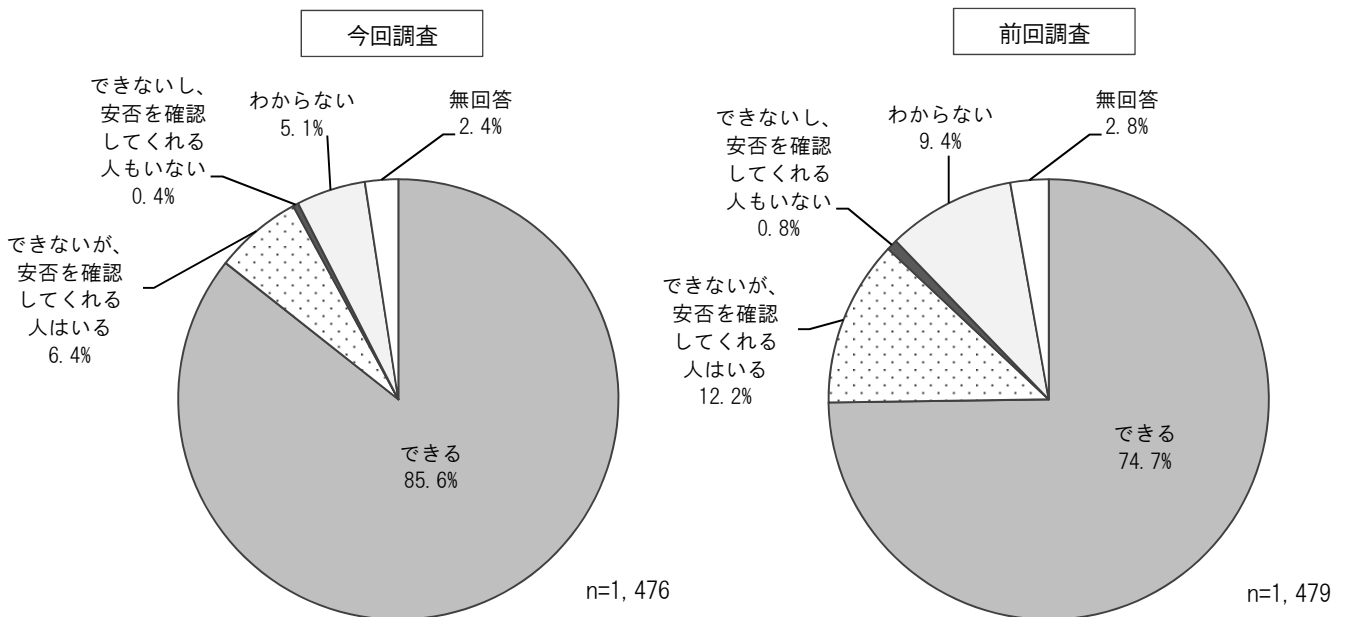
▶緊急時に一人で避難することが「できる」が 85.6%、「できないし、安否を確認してくれる人もいない」は 0.4%

- ・年齢別にみると、一人で避難「できる」は、高齢になるにつれて低くなっている。
[図表 3-12]
- ・経年比較では、「できる」は 85.6%で、前回調査より 10.9 ポイント高くなっている。
[図表 3-13]

図表 3-12 災害時に一人で避難すること／年齢別



図表 3-13 災害時に一人で避難すること／経年比較



2 健康について

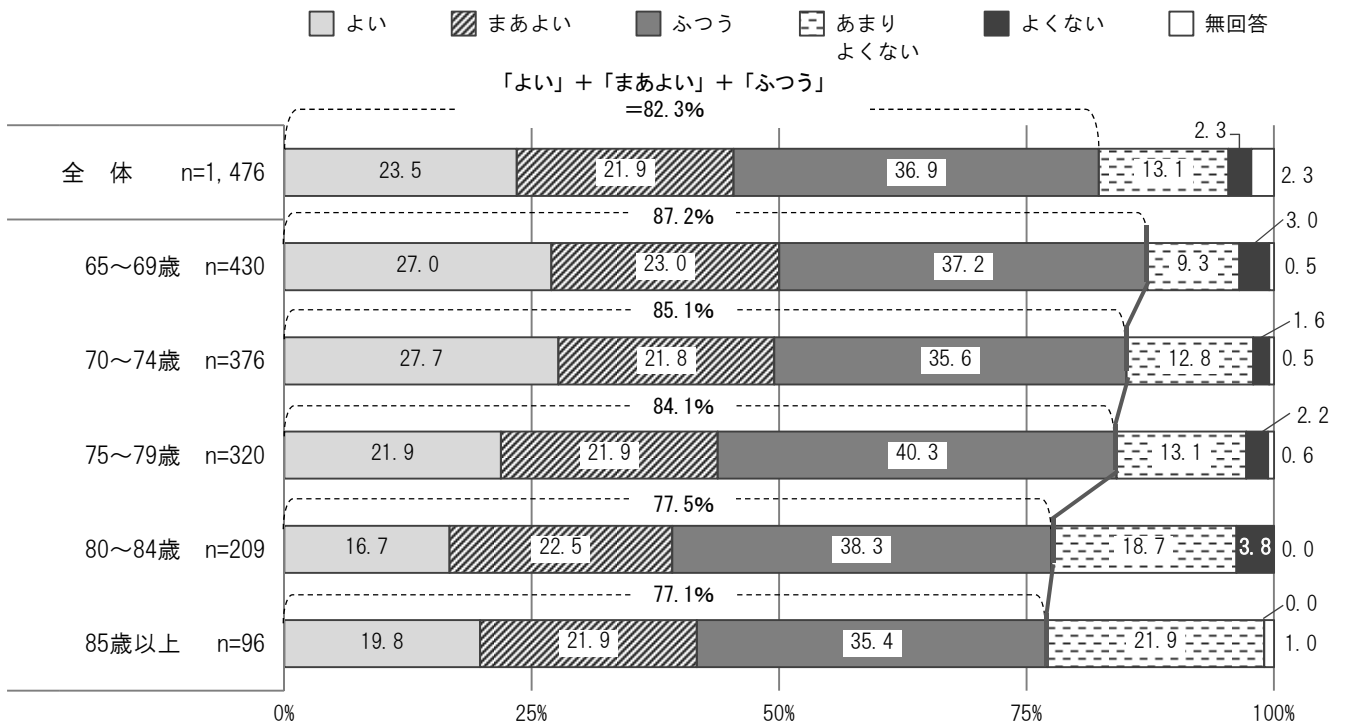
問8 ふだんの健康状態について、どのように感じていますか。(1つに○)

資料編：P203

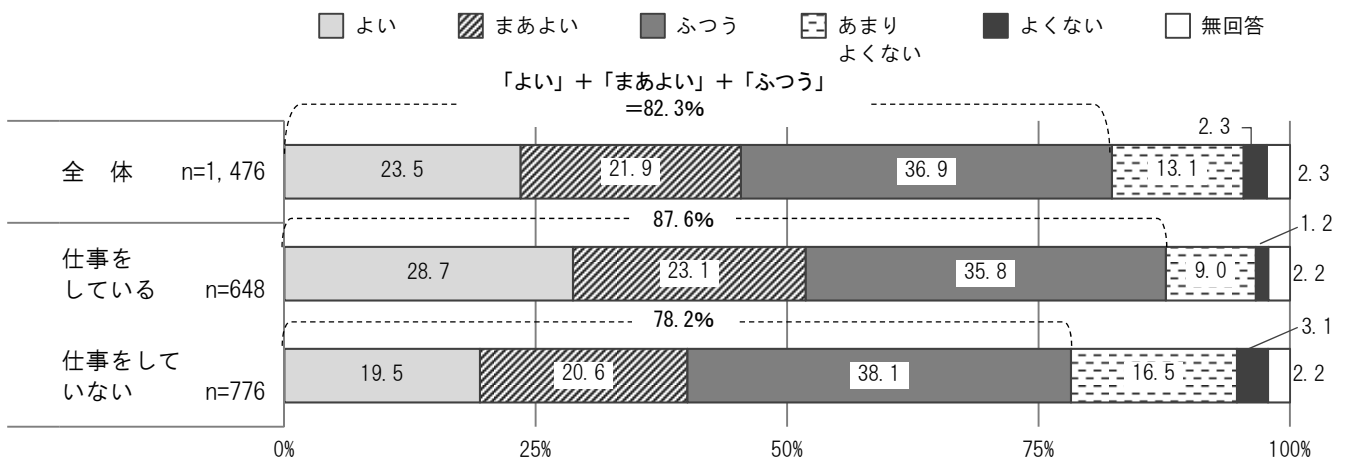
▶健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると82.3%

- ・年齢別にみると、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると、85歳以上が77.1%となっている。[図表3-14]
- ・就労状況別にみると、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると「仕事をしている」人が87.6%、「仕事をしていない」人が78.2%となっている。[図表3-15]

図表3-14 健康状態／年齢別



図表3-15 健康状態／就労状況別



第3章 一般高齢者調査の結果

- ・1年間に行った地域活動等別にみると、健康状態が「ふつう」の方は、「町会・自治会、老人クラブなどの活動」や「その他」の地域活動などに参加している人が多いが、「参加していない」人も38.0%となっている。[図表3-16]

図表3-16 健康状態／1年間に行った地域活動等別（複数回答）

単位：%

項目		回答者数(人)	よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体		1,476	23.5	21.9	36.9	13.1	2.3	2.3
1年間に行った地域活動等	趣味や教養活動	347	30.8	22.8	35.4	8.1	0.9	2.0
	健康づくり・スポーツ活動	314	35.4	23.2	32.5	7.0	0.6	1.3
	町会・自治会、老人クラブなどの活動	310	25.2	23.2	41.0	8.1	0.6	1.9
	ボランティアやNPO活動	61	39.3	21.3	27.9	6.6	1.6	3.3
	その他	46	32.6	15.2	39.1	13.0	0.0	0.0
	参加していない	705	18.0	20.3	38.0	17.3	4.0	2.4

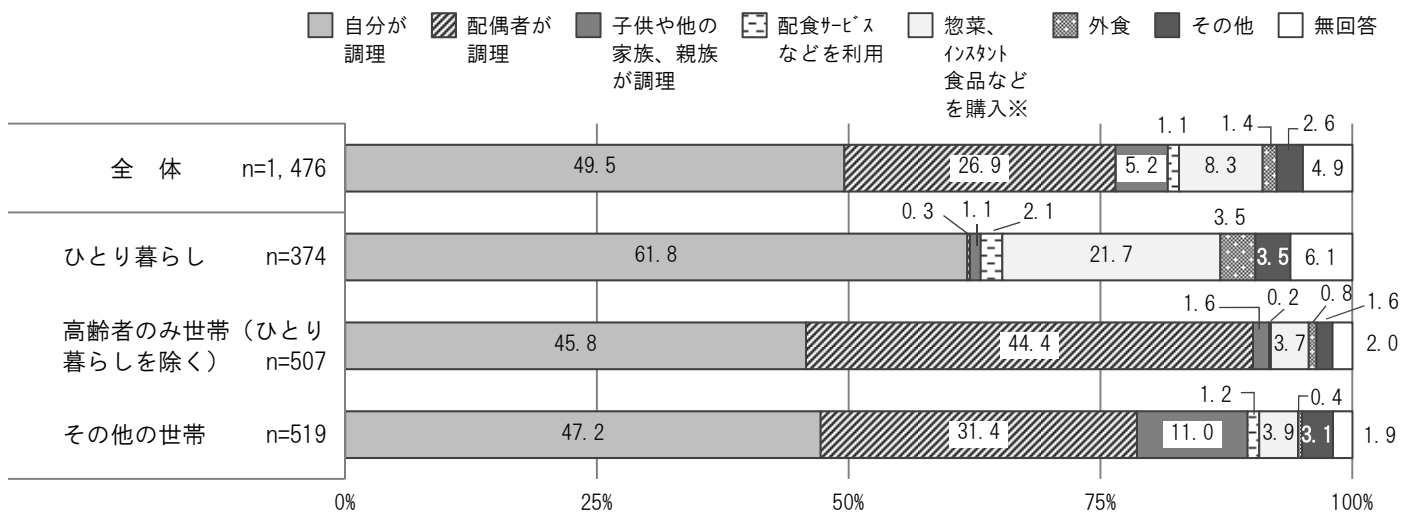
問9 あなたの、ふだんの食事の用意などは主にどのようにしていますか。
(1つに○)

資料編：P204

▶ふだんの食事の用意は、「自分が調理」が49.5%、「配偶者が調理」が26.9%、「子供や他の家族、親族が調理」が5.2%

- ・家族構成別にみると、ひとり暮らしは「自分が調理」が61.8%、「惣菜、インスタント食品などを購入」が21.7%となっている。[図表3-17]

図表3-17 ふだんの食事の用意／家族構成別



※「惣菜、インスタント食品などを購入」＝「スーパー・コンビニなどで惣菜、インスタント食品などを購入」

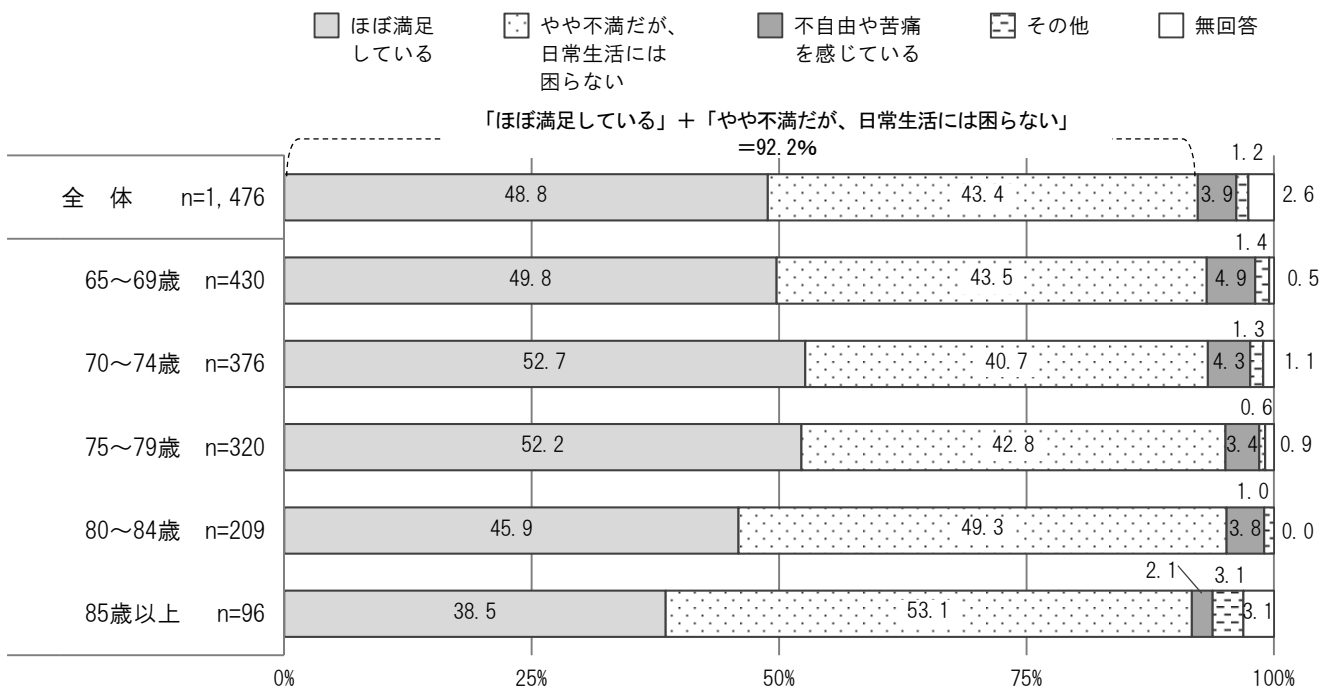
問10 口の中や歯の状態（入れ歯を入れている状態を含みます）を、どのように感じていますか。（1つに○）

資料編：P204

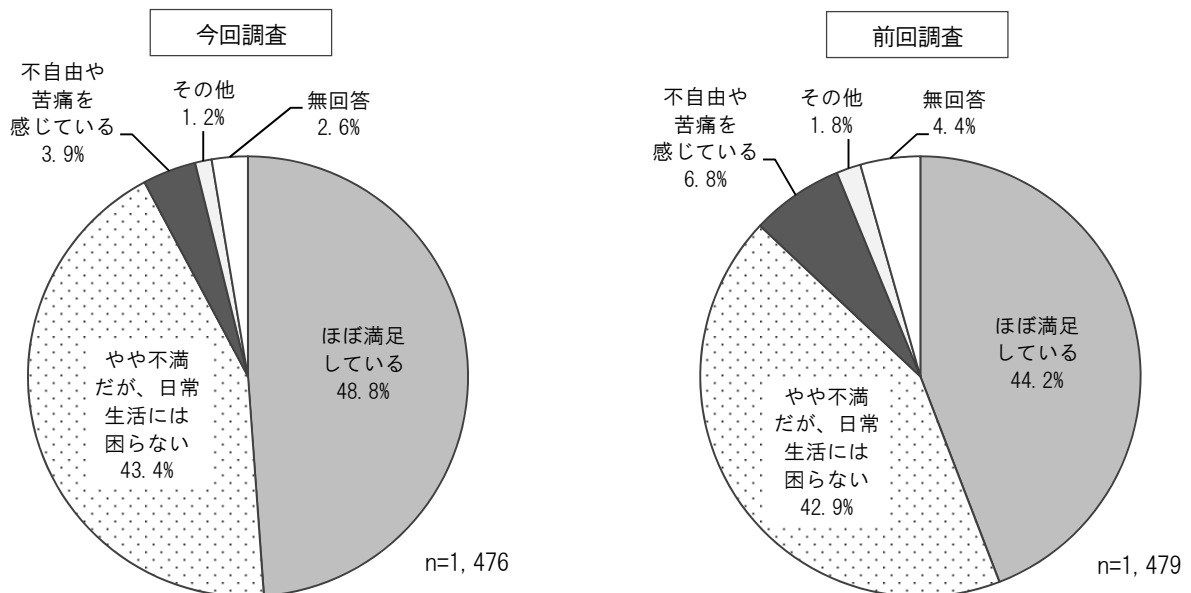
▶口の中や歯の状態は、「ほぼ満足している」「やや不満だが、日常生活には困らない」を合わせると92.2%

- ・年齢別にみると、「ほぼ満足している」は85歳以上が38.5%で最も低く、次いで80～84歳が45.9%となっている。[図表3-18]
- ・経年比較では、「ほぼ満足している」は48.8%で、前回調査より4.6ポイント高くなっている。[図表3-19]

図表3-18 口の中や歯の状態／年齢別



図表3-19 口の中や歯の状態／経年比較



問11 食事などのときに、次のことで気になることはありますか。
(それぞれ1つに○)

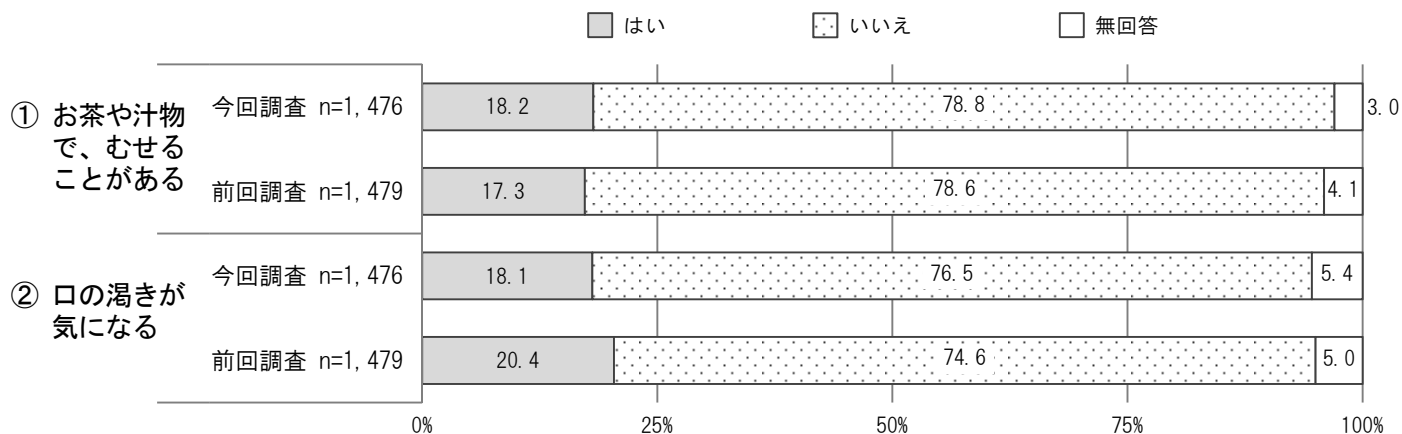
- ① お茶や汁物で、むせることがありますか。
- ② 口の渇きが気になりますか。

資料編：P205

- ▶① お茶や汁物で、むせることがあるかは、「いいえ」が78.8%
- ▶② 口の渇きが気になるかは、「いいえ」が76.5%

・経年比較では、① お茶や汁物で、むせることがあるかでは「いいえ」は78.8%で、前回調査より0.2ポイント高く、② 口の渇きが気になるかでは「いいえ」は76.5%で、前回調査より1.9ポイント高くなっている。[図表3-20]

図表3-20 食事などのときに気になること



問12 ふだんから治療や指導を受けたり、相談のできるかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(それぞれ主なもの1つに○)
 ① かかりつけ医 ② かかりつけ歯科医 ③ かかりつけ薬局

資料編：P206、P207

- ▶① かかりつけ医は、「区内にある」が71.2%、「区外にある」が16.5%
- ▶② かかりつけ歯科医は、「区内にある」が70.6%、「区外にある」が13.0%
- ▶③ かかりつけ薬局は、「区内にある」が70.9%、「区外にある」が8.3%

・年齢別にみると、75～79歳は① かかりつけ医が「区内にある」が77.2%、② かかりつけ歯科医が「区内にある」が73.8%、③ かかりつけ薬局が「区内にある」が77.2%でいずれも高くなっている。[図表3-21]

図表3-21 かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局の有無／年齢別 単位：%

項目	回答者数(人)	① かかりつけ医の有無				② かかりつけ歯科医の有無				③ かかりつけ薬局の有無				
		区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	区内にある	区外にある	どちらもない	無回答	
全体	1,476	71.2	16.5	7.8	4.5	70.6	13.0	8.9	7.5	70.9	8.3	12.1	8.7	
年齢	65～69歳	430	67.4	17.2	13.7	1.6	70.9	13.3	12.8	3.0	67.0	8.6	20.0	4.4
	70～74歳	376	70.7	17.0	8.5	3.7	73.4	13.0	9.0	4.5	72.6	7.7	13.3	6.4
	75～79歳	320	77.2	16.9	4.1	1.9	73.8	12.5	8.1	5.6	77.2	8.8	6.3	7.8
	80～84歳	209	77.0	17.2	3.3	2.4	70.3	14.4	4.3	11.0	71.8	11.0	8.1	9.1
	85歳以上	96	77.1	14.6	3.1	5.2	69.8	12.5	5.2	12.5	77.1	5.2	4.2	13.5

3 住まいについて

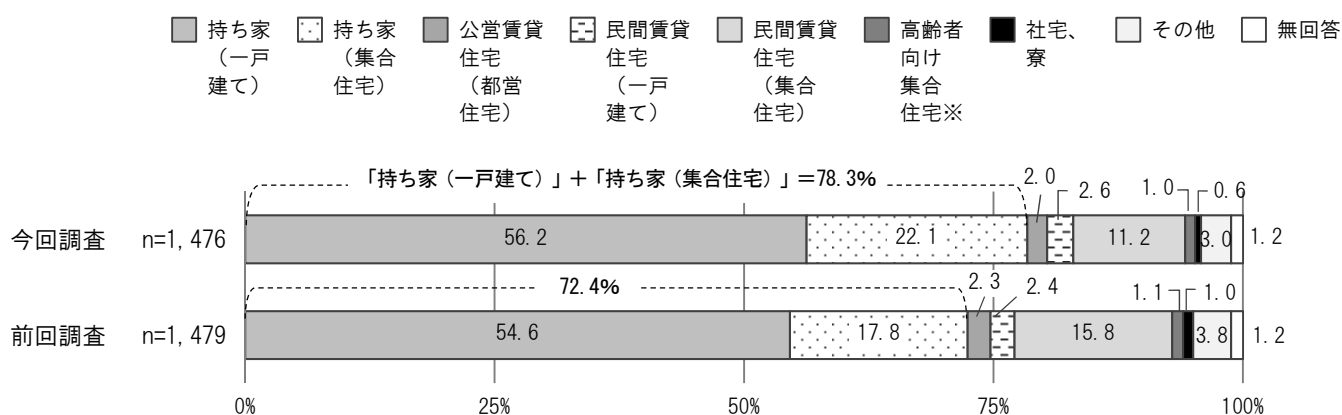
問13 お住まいの形態は、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

資料編：P207

▶住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」が56.2%、「持ち家（集合住宅）」が22.1%

・経年比較では、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（集合住宅）」を合わせると78.3%で、前回調査より5.9ポイント高くなっている。一方、「民間賃貸住宅（集合住宅）」は11.2%で、前回調査より4.6ポイント低くなっている。[図表3-22]

図表3-22 住まいの形態／経年比較



※「高齢者向け集合住宅」＝「高齢者向け集合住宅（シルバーピア、サービス付き高齢者向け住宅）」

注) 前回調査の選択肢は「持ち家（一戸建て）」「持ち家（分譲マンション）」「公営住宅（都営住宅）」「借家（一戸建て）」「借家（マンション、鉄筋・鉄骨アパート）」「借家（木造アパート）」「高齢者向けの集合住宅（シルバーピアやサービス付き高齢者向け住宅等）」「社宅・寮」「都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」「その他」となっており、次のものと比較している。

- ・「借家（マンション、鉄筋・鉄骨アパート）」＋「借家（木造アパート）」＝「民間賃貸住宅（集合住宅）」
- ・「都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」＋「その他」＝「その他」として比較している。

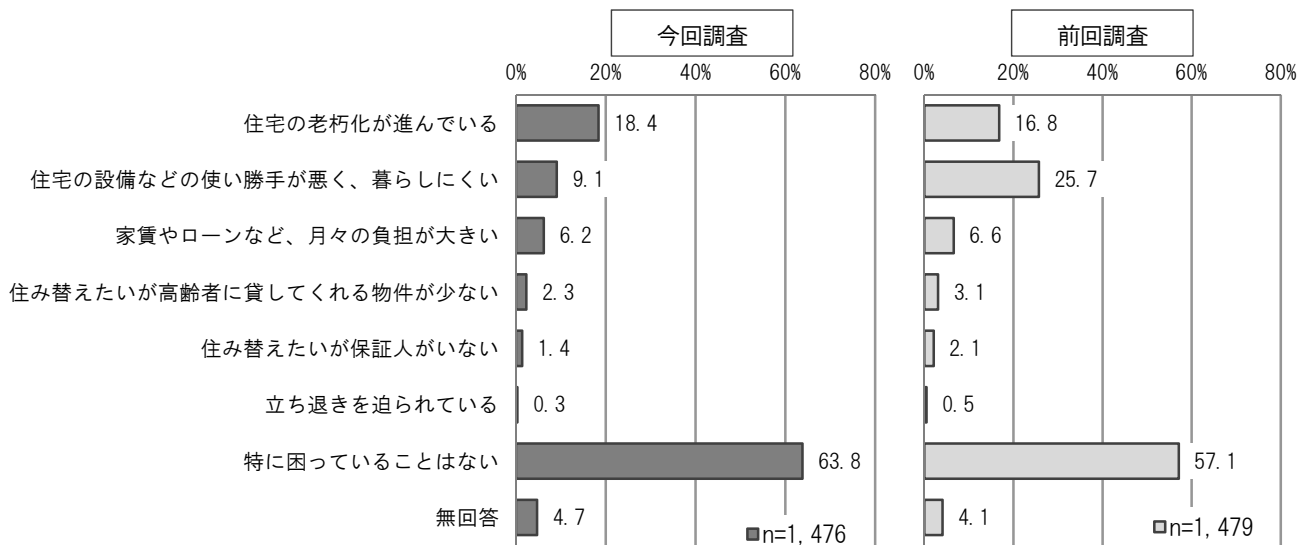
問 14 現在、お住まいの住宅でお困りのことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P208

▶現在の住宅で「特に困っていることはない」が63.8%、「住宅の老朽化が進んでいる」が18.4%

・経年比較では、「住宅設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」は9.1%で、前回調査より16.6ポイント低くなっている。一方、「住宅の老朽化が進んでいる」は18.4%で、前回調査より1.6ポイント高くなっている。[図表 3-23]

図表 3-23 住宅で困っていること（複数回答）／経年比較

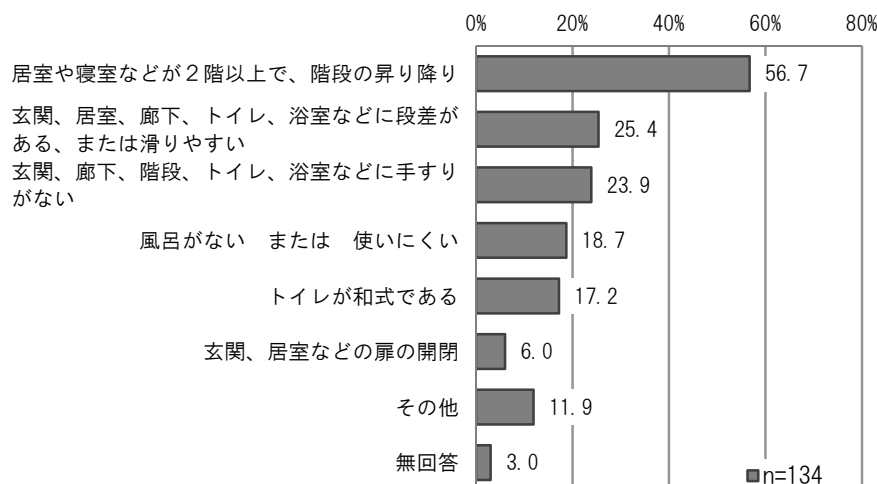


問 14-1 「住宅の設備などの使い勝手が悪く、暮らしにくい」に○をした方におうかがいします。具体的にどのような設備などに困っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P209

▶暮らしにくいと回答した134人の暮らしにくい住宅設備は、「居室や寝室などが2階以上で、階段の昇り降り」が56.7%

図表 3-24 暮らしにくいと感じる住宅の設備（複数回答）

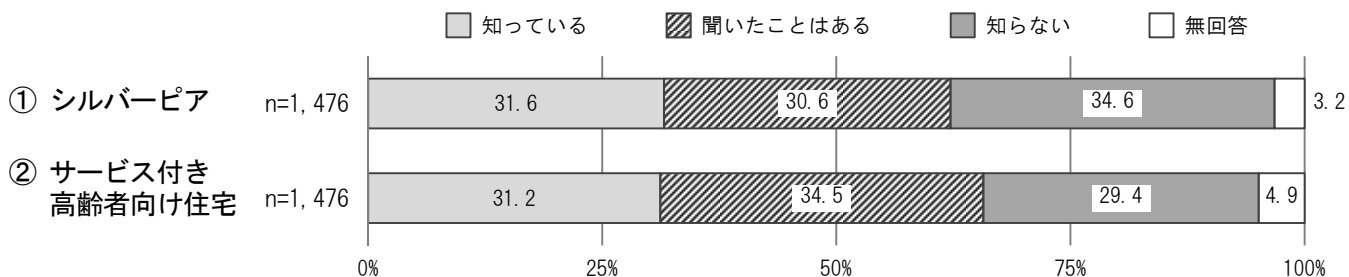


問 15 高齢者向けの住宅として、「シルバーピア」と「サービス付き高齢者向け住宅」がありますが、あなたは知っていますか。（それぞれ1つに○）
 ① シルバーピア ② サービス付き高齢者向け住宅

資料編：P209、P210

- ▶① シルバーピアの認知度は、「知っている」が31.6%、「聞いたことはある」は30.6%
- ▶② サービス付き高齢者向け住宅の認知度は、「知っている」が31.2%、「聞いたことはある」は34.5%

図表 3-25 シルバーピア、サービス付き高齢者向け住宅の認知度



① シルバーピア…高齢者向けの設備を備え、緊急時の対応などを行う管理人を配置した住宅

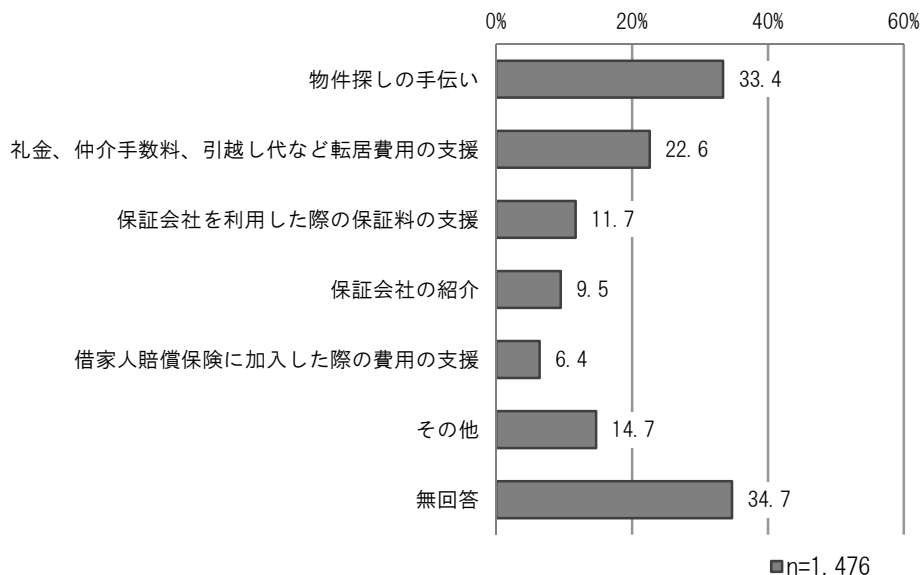
② サービス付き高齢者向け住宅…高齢者世帯や要介護者等の増加に対応し、高齢者が安心して生活することができるよう、バリアフリー構造などを有し、介護・医療と連携して、高齢者を支援するサービスを提供する住宅

問 16 今後、住み替えが必要となった場合、どのような支援があればよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P210

- ▶今後、住み替えが必要となった場合に望む支援は、「物件探しの手伝い」が33.4%、「礼金、仲介手数料、引越し代など転居費用の支援」が22.6%

図表 3-26 住み替えが必要な場合に望む支援（複数回答）



4 コミュニケーションについて

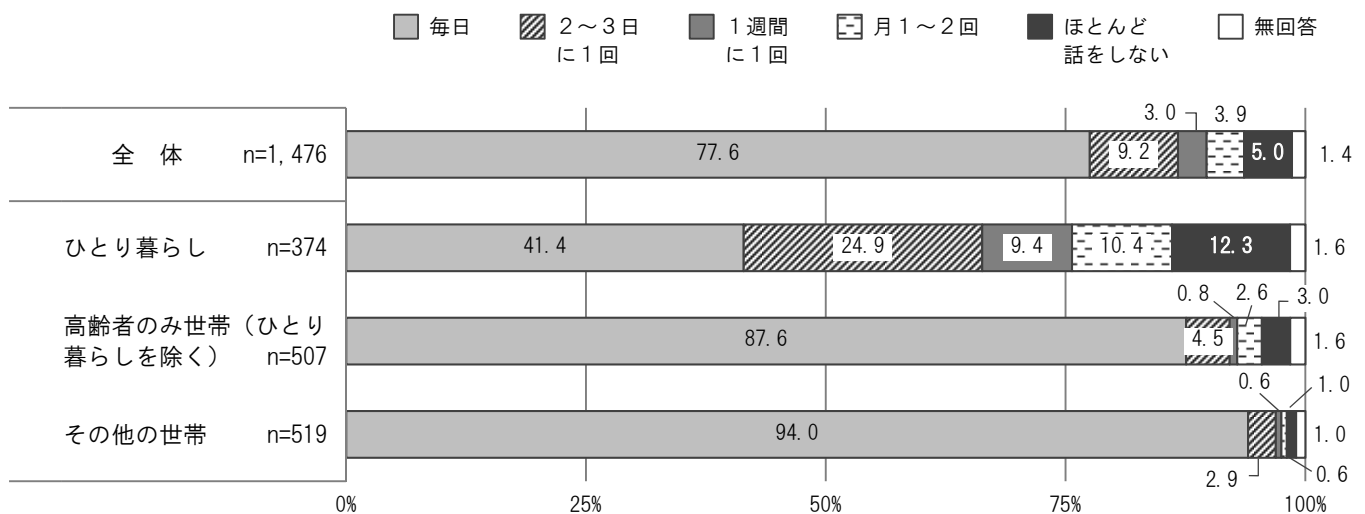
問17 あなたは、ふだん、どのくらいご家族（同居を含む）・ご親族や知人等と会話をしていますか（電話やメールを含む）。（1つに○）

資料編：P211

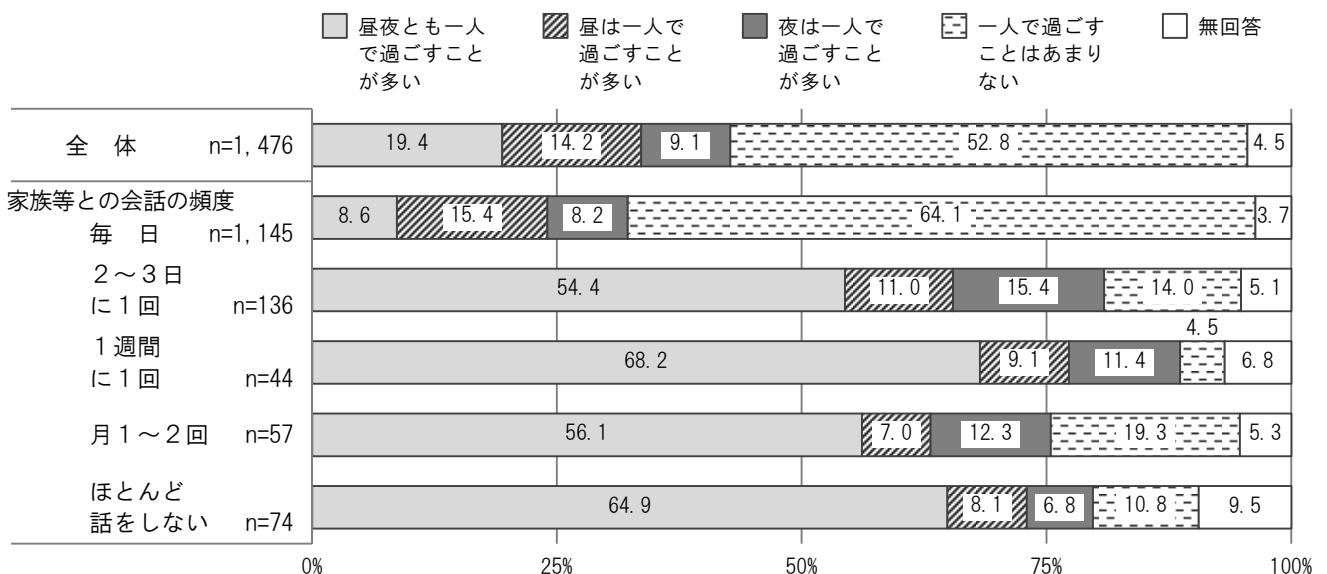
▶家族・親族・知人等との会話は、「毎日」が77.6%

・家族構成別にみると、その他の世帯は家族・親族・知人等の会話は「毎日」が94.0%、ひとり暮らしは「毎日」が41.4%、「2～3日に1回」が24.9%となっている。[図表3-27]

図表3-27 家族・親族・知人等との会話／家族構成別



図表3-28 日中独居の状況／家族等との会話の頻度別



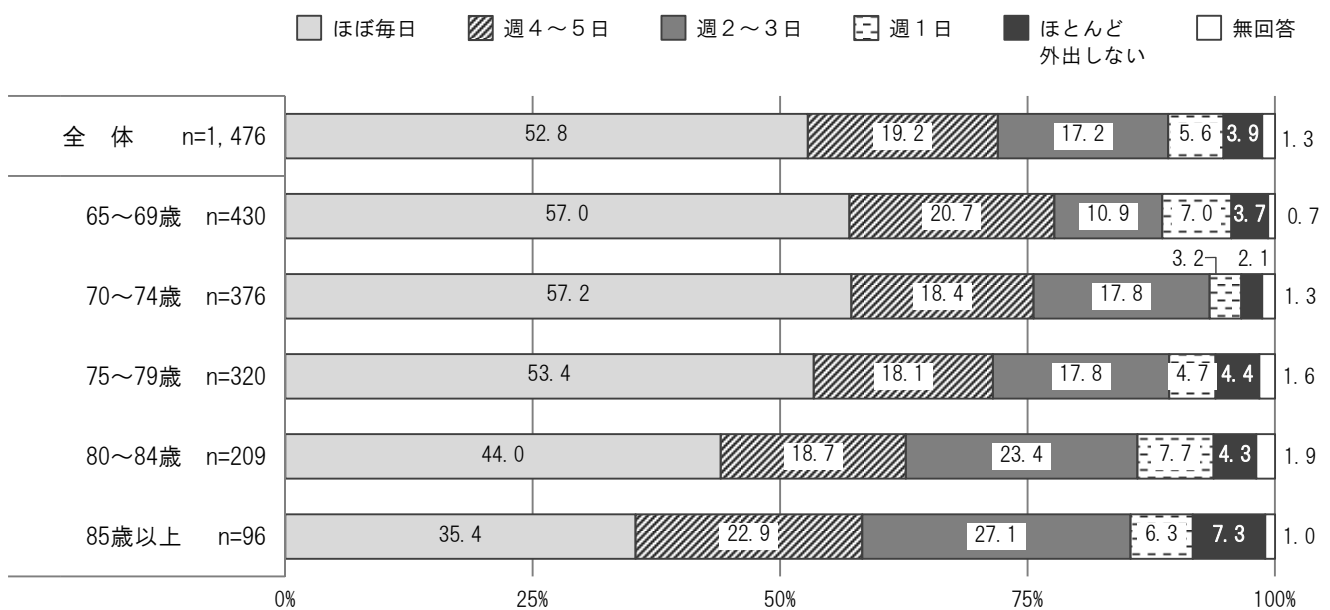
問 18 1週間でのどのくらい外出しますか。(1つに○)

資料編：P211

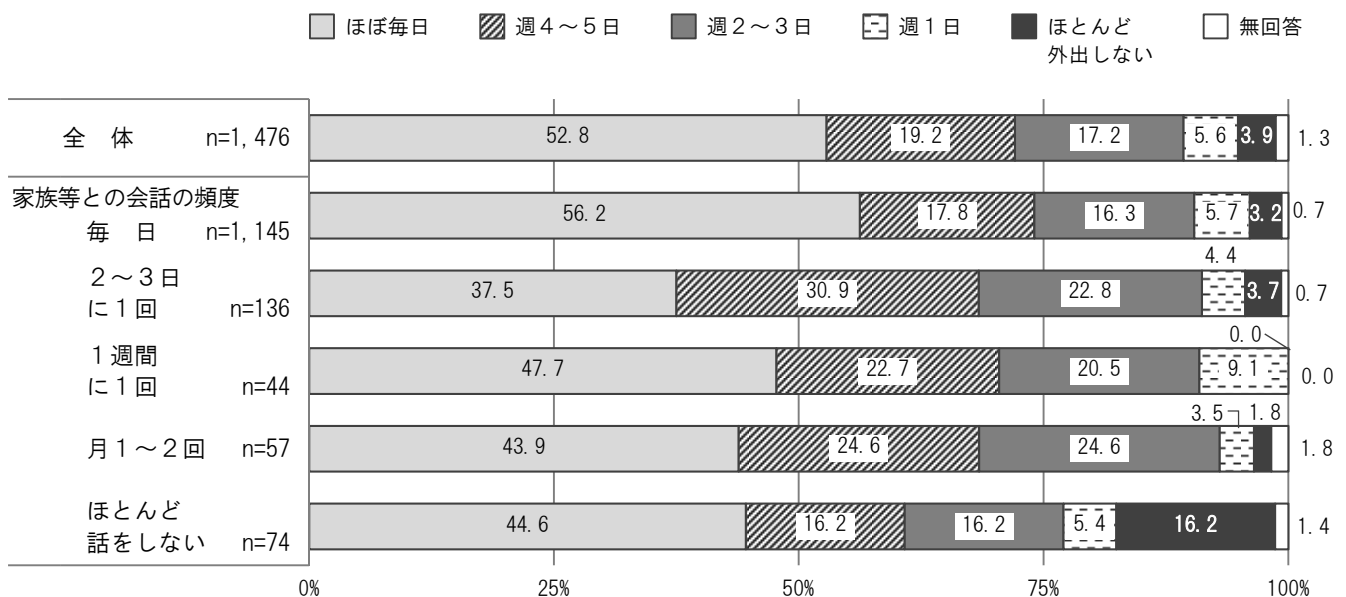
▶ 1週間の外出頻度は、「ほぼ毎日」が52.8%

- ・ 1週間の外出頻度が「ほぼ毎日」は、70～74歳が57.2%、85歳以上が35.4%となっている。[図表 3-29]
- ・ 家族等との会話の頻度別にみると、家族との会話が「毎日」の人は、1週間の外出頻度の「ほぼ毎日」が56.2%で高くなっている。[図表 3-30]

図表 3-29 1週間の外出頻度／年齢別



図表 3-30 1週間の外出頻度／家族等との会話の頻度別



5 地域とのかかわり、社会参加について

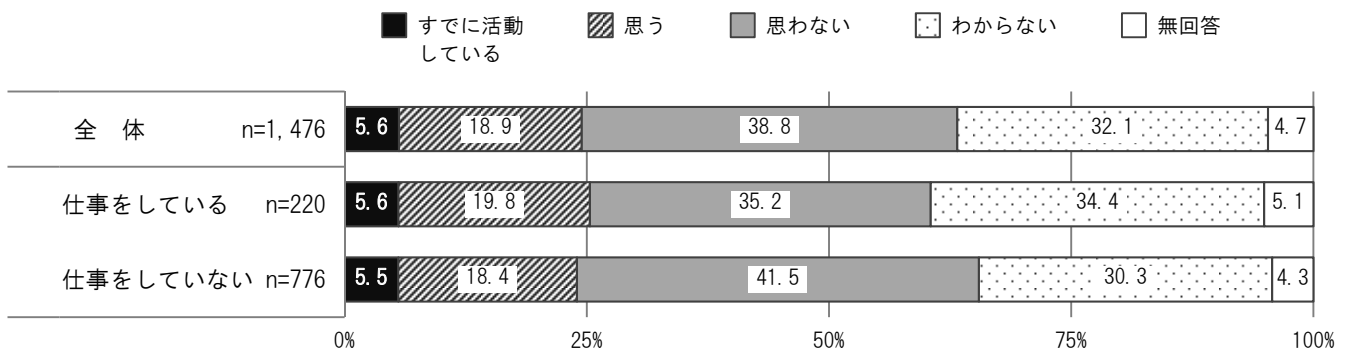
問19 今後、あなたは地域で支援を必要とする高齢者の支え手（近所の方への買い物や掃除などの日常生活のお手伝い）として活動してみたいと思いますか。
（1つに○）

資料編：P212

- ▶ 高齢者の支え手として「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」が18.9%
- ▶ 高齢者の支え手として活動してみたいと「思わない」は、「仕事をしている」人が35.2%、「仕事をしていない」人が41.5%

・1年間に行った地域活動等別にみると、ボランティアやNPO活動は「すでに活動している」が24.6%、「思う」が31.1%となっている。[図表3-32]

図表3-31 高齢者の支え手としての活動意向／就労状況別



図表3-32 高齢者の支え手としての活動意向／1年間に行った地域活動等別（複数回答） 単位：%

項目		回答者数 (人)	すでに活動している	思う	思わない	わからない	無回答
全体		1,476	5.6	18.9	38.8	32.1	4.7
1年間に行った地域活動等	趣味や教養活動	347	7.8	27.4	35.4	27.1	2.3
	健康づくり・スポーツ活動	314	9.9	25.2	35.4	27.1	2.5
	町会・自治会、老人クラブなどの活動	310	16.5	25.2	29.4	26.5	2.6
	ボランティアやNPO活動	61	24.6	31.1	26.2	18.0	—
	その他	46	6.5	19.6	37.0	30.4	6.5
	参加していない	705	1.8	13.8	42.7	36.2	5.5

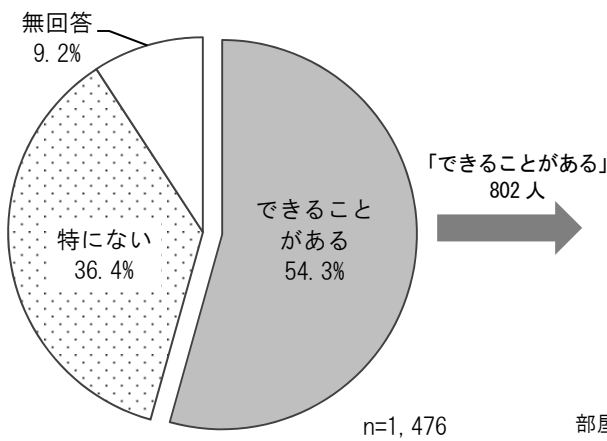
問 20 地域で支援を必要とする高齢者の支え手として、あなた自身ができることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P213

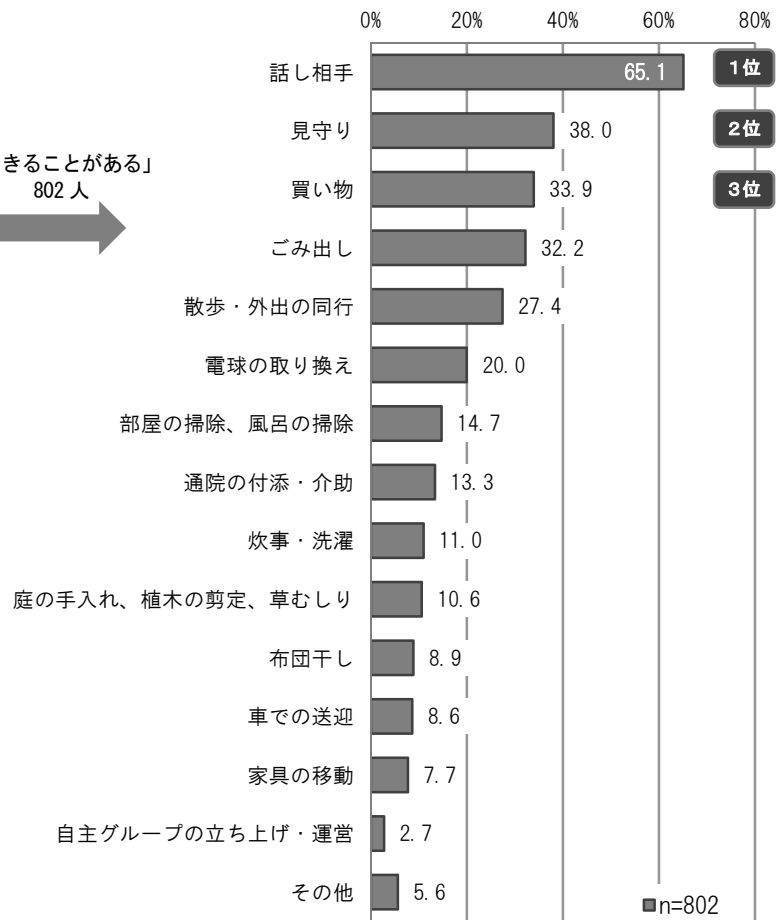
▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「できることがある」は54.3%

- ・「できることがある」と回答した802人の内容は、「話し相手」が65.1%で最も高く、次いで「見守り」が38.0%、「買い物」が33.9%となっている。[図表3-34]

図表3-33 高齢者の支え手としてできることがあるか



図表3-34 高齢者の支え手としてできること（複数回答）



- ・性別にみると、「電球の取り換え」「車での送迎」「家具の移動」は男性のほうが高く、「話し相手」は女性のほうが高くなっている。[図表 3-35]

図表 3-35 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／性別

単位：%

項目		回答者数(人)	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	同行 散歩・外出の	電球の取り換 え	部屋の掃除、 風呂の掃除	通院の付添・ 介助	炊事・洗濯
全体		1,476	35.4	20.7	18.4	17.5	14.9	10.8	8.0	7.2	6.0
性別	男性	639	28.6	20.5	15.6	18.6	15.0	18.8	7.8	7.0	4.1
	女性	799	40.4	20.8	20.4	16.5	14.5	4.3	8.1	7.1	7.5

項目		回答者数(人)	庭の手入れ、 植木の剪定、 草むしり	布団干し	車での送迎	家具の移動	自主グループ の立ち上げ・ 運営	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1,476	5.8	4.8	4.7	4.2	1.5	3.0	36.4	9.2
性別	男性	639	7.8	6.4	9.7	8.5	2.8	2.5	41.2	6.9
	女性	799	4.3	3.5	0.6	0.8	0.4	3.5	33.2	10.5

- ・年齢別にみると、「話し相手」はすべての年代で3割を超え、「見守り」「買い物」は65～74歳が高くなっている。[図表 3-36]

図表 3-36 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／年齢別

単位：%

項目		回答者数(人)	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	同行 散歩・外出の	電球の取り換 え	部屋の掃除、 風呂の掃除	通院の付添・ 介助	炊事・洗濯
全体		1,476	35.4	20.7	18.4	17.5	14.9	10.8	8.0	7.2	6.0
年 齢	65～69歳	430	33.5	25.8	22.1	16.3	14.2	12.8	8.1	8.8	7.9
	70～74歳	376	38.8	26.1	22.6	21.3	17.3	12.8	11.2	8.8	6.6
	75～79歳	320	36.6	18.8	18.8	20.3	16.6	11.3	8.1	7.5	6.6
	80～84歳	209	34.0	13.4	9.1	13.9	12.4	5.7	3.8	3.3	2.4
	85歳以上	96	30.2	2.1	6.3	5.2	7.3	1.0	3.1	1.0	1.0

項目		回答者数(人)	庭の手入れ、 植木の剪定、 草むしり	布団干し	車での送迎	家具の移動	自主グループ の立ち上げ・ 運営	その他	特 に な い	無 回 答
全体		1,476	5.8	4.8	4.7	4.2	1.5	3.0	36.4	9.2
年 齢	65～69歳	430	6.5	5.3	6.0	4.9	2.1	2.8	38.4	5.3
	70～74歳	376	7.4	6.9	5.6	5.1	1.1	2.9	29.3	8.2
	75～79歳	320	4.4	4.4	4.1	4.1	1.6	3.4	35.9	13.4
	80～84歳	209	5.7	2.4	2.4	2.4	1.4	4.3	41.1	8.6
	85歳以上	96	2.1	1.0	1.0	1.0	—	1.0	50.0	13.5

・活動意向別にみると、「すでに活動している」「思う」と回答している方が、すべての項目で高くなっている。[図表 3-37]

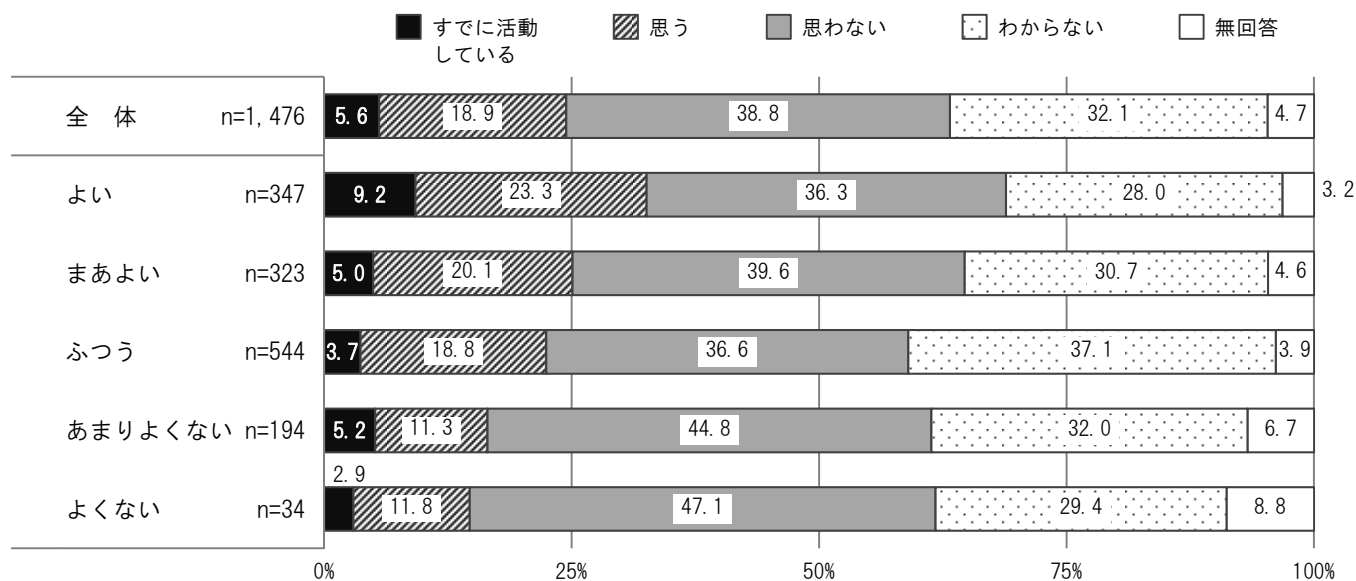
図表 3-37 高齢者の支え手としてできること（複数回答）／活動意向別

単位：%

項目		回答者数（人）	話し相手	見守り	買い物	ごみ出し	散歩・外出の同行	電球の取り換え	部屋の掃除、風呂の掃除	通院の付添・介助	炊事・洗濯
全体		1,476	35.4	20.7	18.4	17.5	14.9	10.8	8.0	7.2	6.0
活動意向	すでに活動している	82	61.0	43.9	35.4	31.7	29.3	19.5	17.1	20.7	9.8
	思う	279	67.7	41.2	44.4	40.5	35.8	21.9	19.7	20.1	15.4
	思わない	572	22.4	11.4	5.6	7.3	5.8	4.9	3.0	1.0	2.1
	わからない	474	30.0	17.7	16.7	14.3	12.0	10.5	6.3	5.3	4.6
項目		回答者数（人）	庭の手入れ、植木の剪定、草むしり	布団干し	車での送迎	家具の移動	立ち上げ・運営	自主グループの立ち上げ・運営	その他	特にない	無回答
全体		1,476	5.8	4.8	4.7	4.2	1.5	3.0	36.4	9.2	
活動意向	すでに活動している	82	9.8	9.8	12.2	9.8	7.3	3.7	6.1	4.9	
	思う	279	14.0	11.8	10.4	8.2	3.2	2.2	5.7	2.2	
	思わない	572	3.0	1.7	1.6	1.6	1.0	2.3	55.8	9.4	
	わからない	474	4.0	3.6	4.0	4.2	0.2	4.9	39.2	7.6	

・高齢者の支え手の活動意向を健康状態別にみると、健康状態が「よい」は「すでに活動している」が9.2%、「思う」が23.3%で高くなっている。[図表 3-38]

図表 3-38 高齢者の支え手としての活動意向／健康状態別



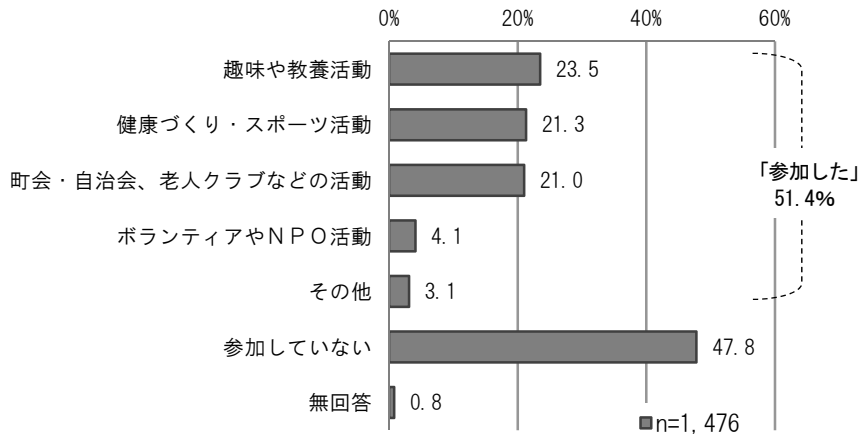
問 21 この1年間に趣味やスポーツ、地域活動などを行いましたか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P214

▶ 1年間に行った地域活動等に「参加した」は51.4%

- ・ 1年間に行った趣味やスポーツ、地域活動などは、「趣味や教養活動」が23.5%、「健康づくり・スポーツ活動」が21.3%、「町会・自治会、老人クラブなどの活動」が21.0%となっている。[図表 3-39]

図表 3-39 1年間に行った地域活動等（複数回答）



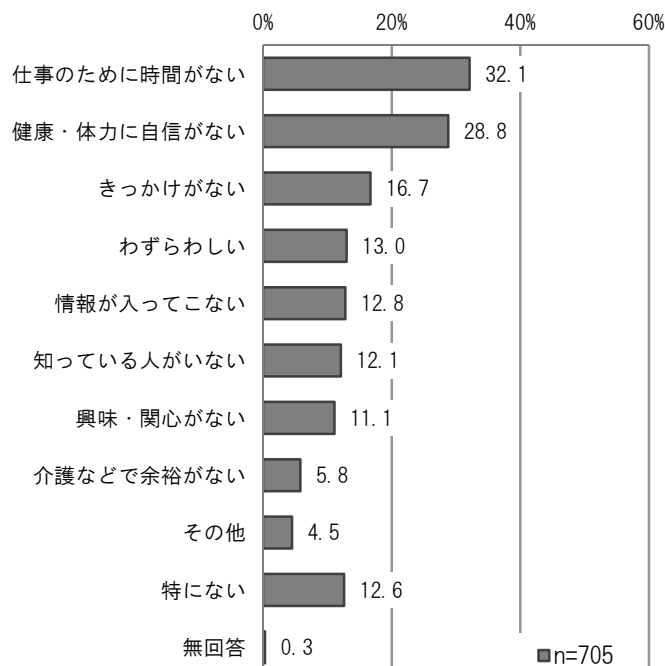
※「参加した」=100%－「参加していない」－「無回答」

問 21-1 「参加していない」に○をした方におうかがいします。地域活動や講座に参加していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P215

▶ 参加していないと回答した705人の理由は、「仕事のために時間がない」が32.1%、「健康・体力に自信がない」が28.8%

図表 3-40 地域活動等に参加していない理由（複数回答）



6 就労について

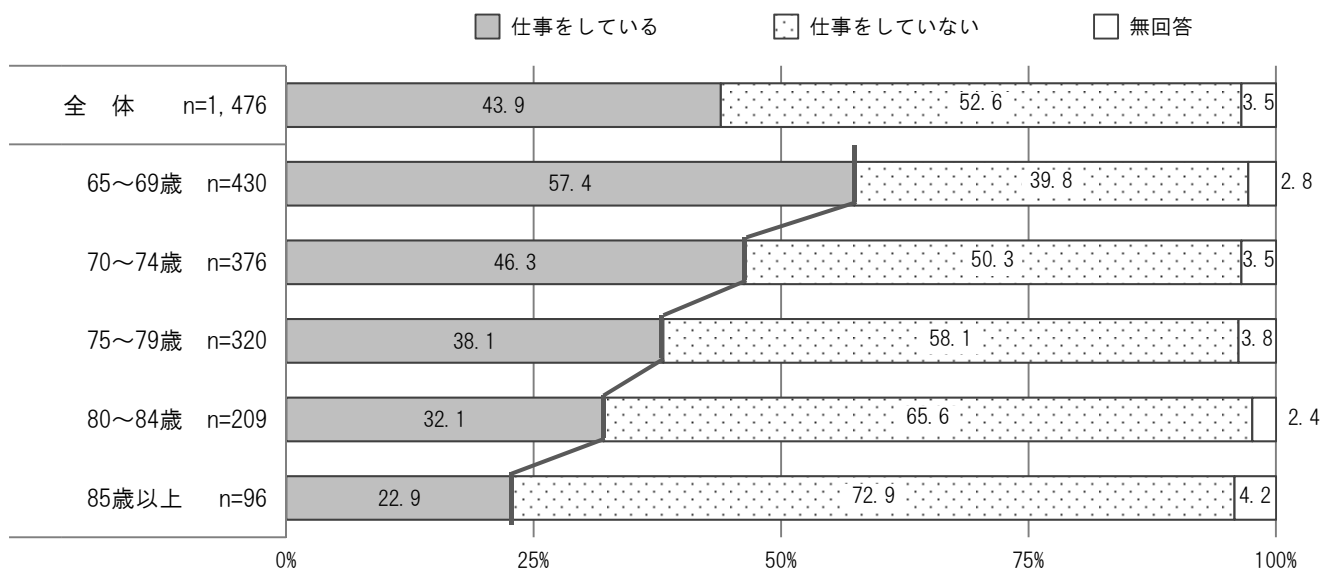
問22 あなたは現在、収入のある仕事をしていますか。(1つに○)

資料編：P216

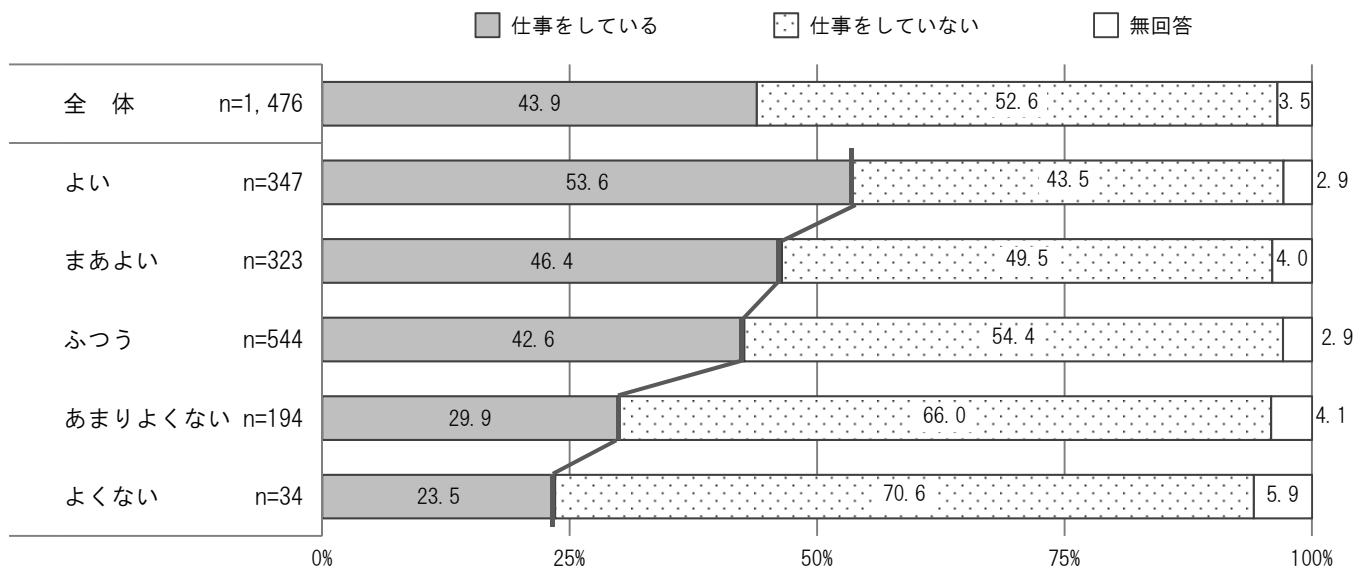
▶現在、収入のある「仕事をしている」が43.9%

- ・年齢別にみると、「仕事をしている」は65～69歳が57.4%、70～74歳が46.3%で、高齢になるにつれて低くなっている。[図表3-41]
- ・健康状態別にみると、「仕事をしている」人は「よい」が53.6%、「まあよい」が46.4%、「ふつう」が42.6%で、健康状態が良好なほど就労している。[図表3-42]

図表3-41 就労状況／年齢別



図表3-42 就労状況／健康状態別



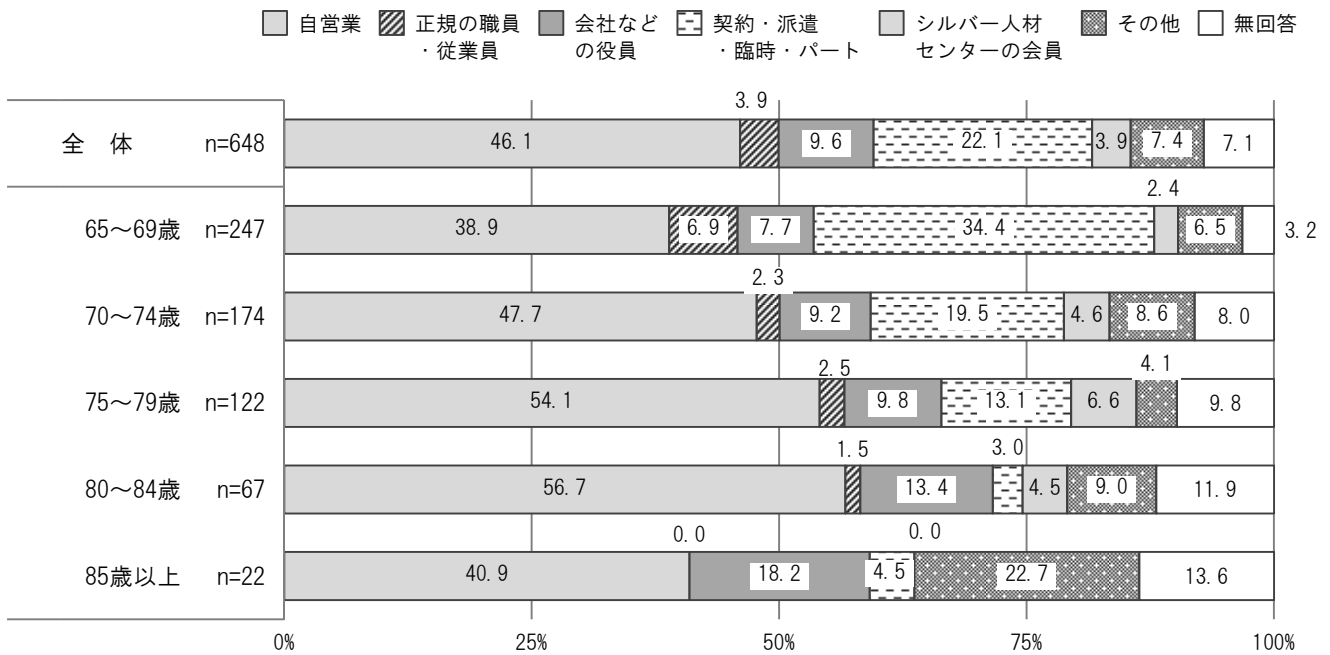
問 22-1 「仕事をしている」に○をした方におうかがいします。
それはどのような仕事ですか。（1つに○）

資料編：P216

▶収入のある「仕事をしている」と回答した 648 人の仕事の種類は、「自営業」が 46.1%、
「契約・派遣・臨時・パート」が 22.1%

・年齢別にみると、「自営業」は 80～84 歳が 56.7%、「契約・派遣・臨時・パート」は 65～69 歳が 34.4%で高くなっている。[図表 3-43]

図表 3-43 仕事の種類／年齢別



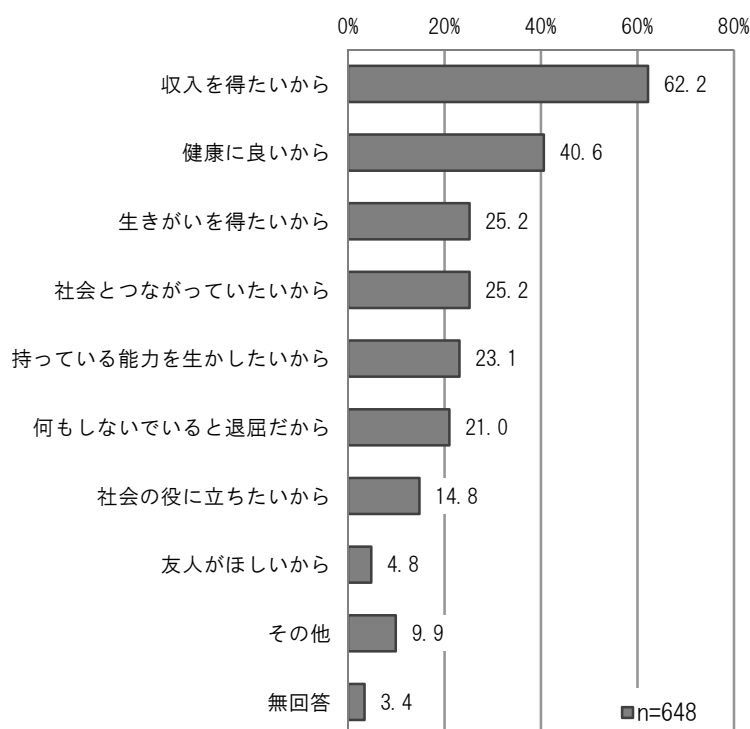
問 22-2 「仕事をしている」に○をした方におうかがいします。
 あなたが仕事をしている理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P217

▶ 「仕事をしている」と回答した 648 人の仕事をしている理由は、「収入を得たいから」が 62.2%、「健康に良いから」が 40.6%

・年齢別にみると、「収入を得たいから」は 65～69 歳が 74.1%、「健康に良いから」は 85 歳以上が 45.5%で高くなっている。[図表 3-45]

図表 3-44 仕事をしている理由（複数回答）



図表 3-45 仕事をしている理由（複数回答）／年齢別

単位：%

項目	回答者数 (人)	収入を得たいから	健康に良いから	生きがいを得たいから	社会とつながりたいから	持っている能力を生かしたいから	何もしないでいると退屈だから	社会の役に立ちたいから	友人がほしいから	その他	無回答	
		全体	648	62.2	40.6	25.2	25.2	23.1	21.0	14.8	4.8	9.9
年齢	65～69 歳	247	74.1	38.9	23.9	28.7	22.3	23.9	14.2	5.3	5.7	0.8
	70～74 歳	174	56.3	43.7	25.3	24.7	27.0	22.4	15.5	4.0	12.6	5.2
	75～79 歳	122	54.1	44.3	27.0	26.2	23.0	19.7	15.6	4.9	8.2	5.7
	80～84 歳	67	49.3	32.8	28.4	13.4	23.9	13.4	16.4	6.0	20.9	3.0
	85 歳以上	22	59.1	45.5	27.3	9.1	13.6	9.1	9.1	4.5	9.1	0.0

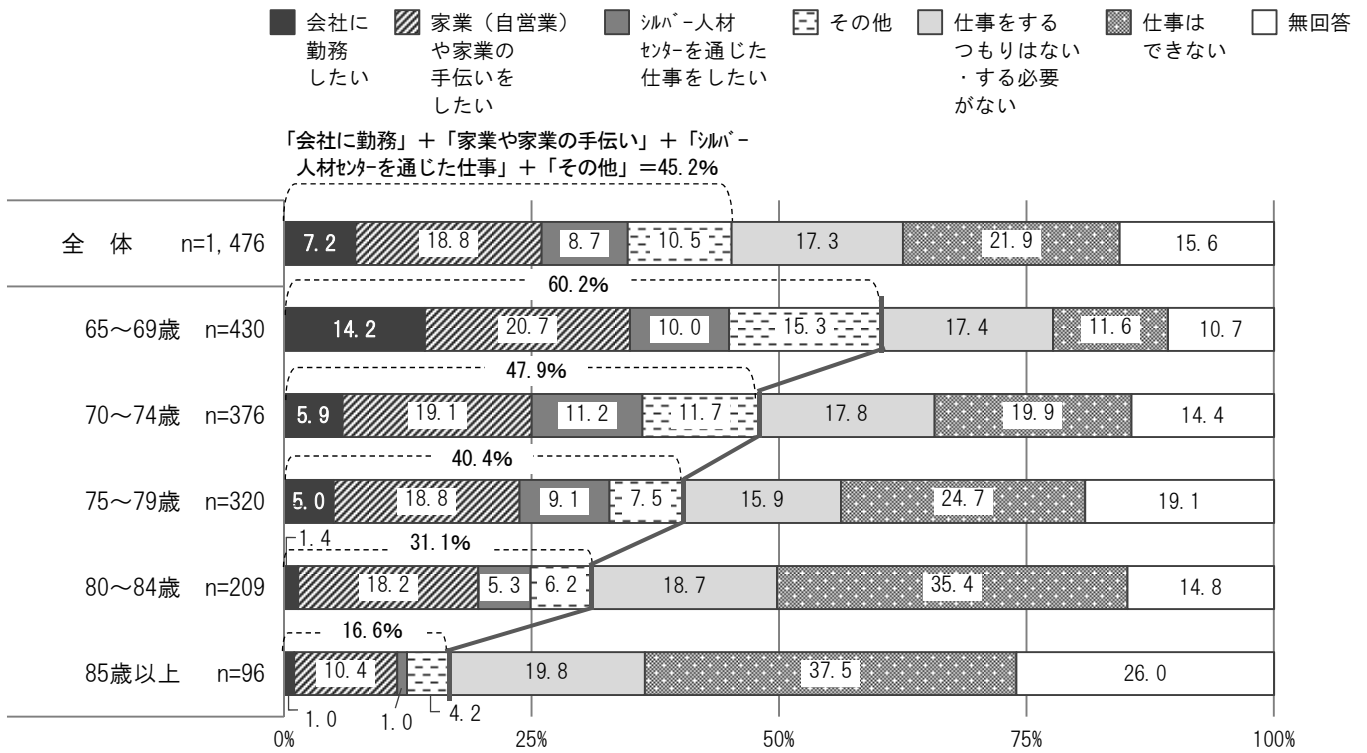
問23 今後、仕事をしたい、または、続けたいと思いますか。(1つに○)

資料編：P218

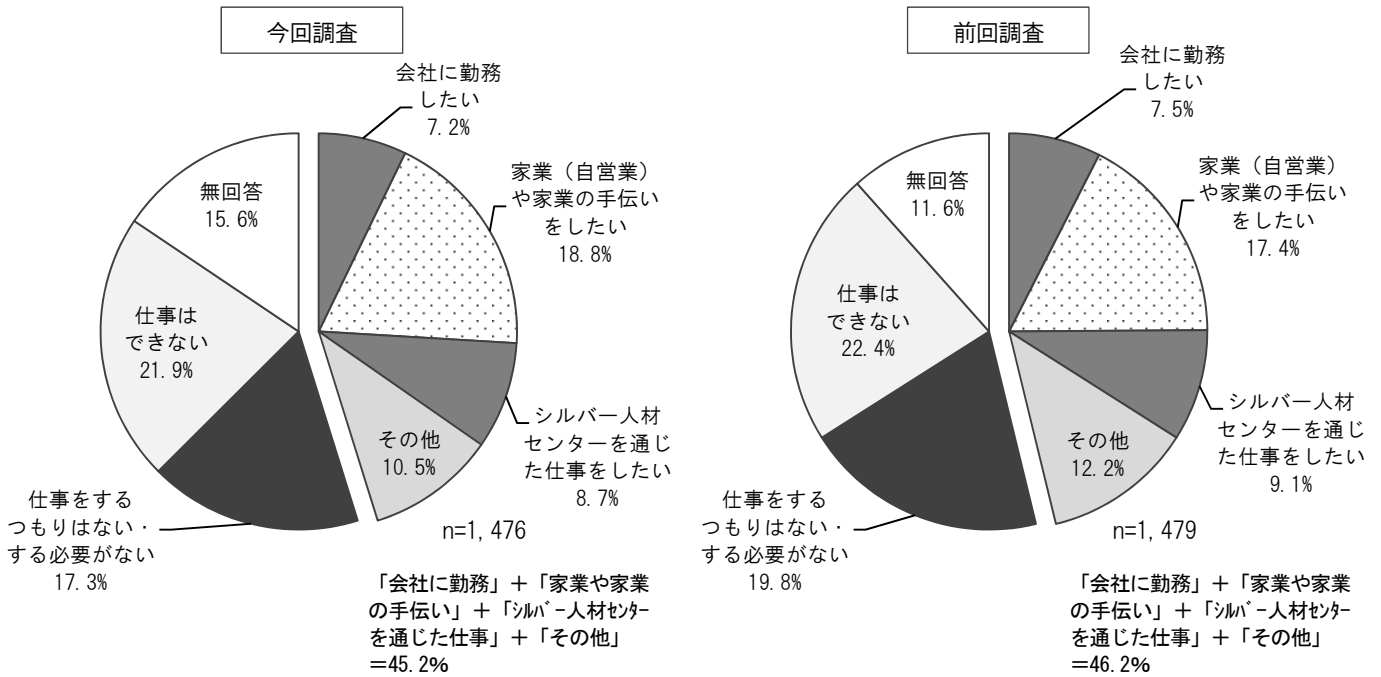
▶ 今後の就労意向は、「会社に勤務したい」「家業（自営業）や家業の手伝いをしたい」「シルバー人材センターを通じた仕事をしたい」「その他」を合わせると45.2%

- ・年齢別にみると、今後の就労意向がある割合は65～69歳が60.2%、70～74歳が47.9%、75～79歳が40.4%で、高齢になるにつれて低くなっている。[図表3-46]
- ・経年比較では、「会社に勤務したい」「家業（自営業）や家業の手伝いをしたい」「シルバー人材センターを通じた仕事をしたい」「その他」を合わせると45.2%で、前回調査より1.0ポイント低くなっている。[図表3-47]

図表3-46 今後の就労意向／年齢別



図表 3-47 今後の就労意向／経年比較



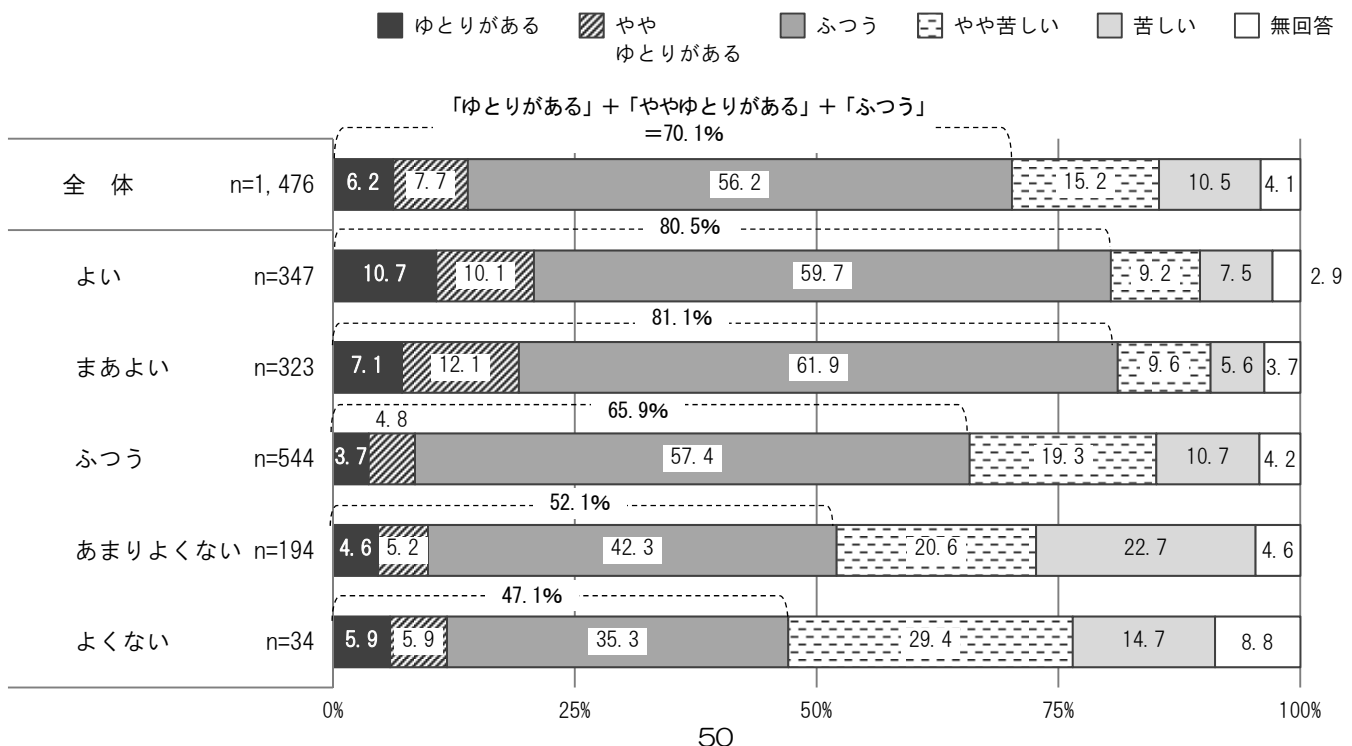
問 24 経済的にみて、現在の暮らしの状況をどう感じていますか。(1つに○)

資料編 : P218

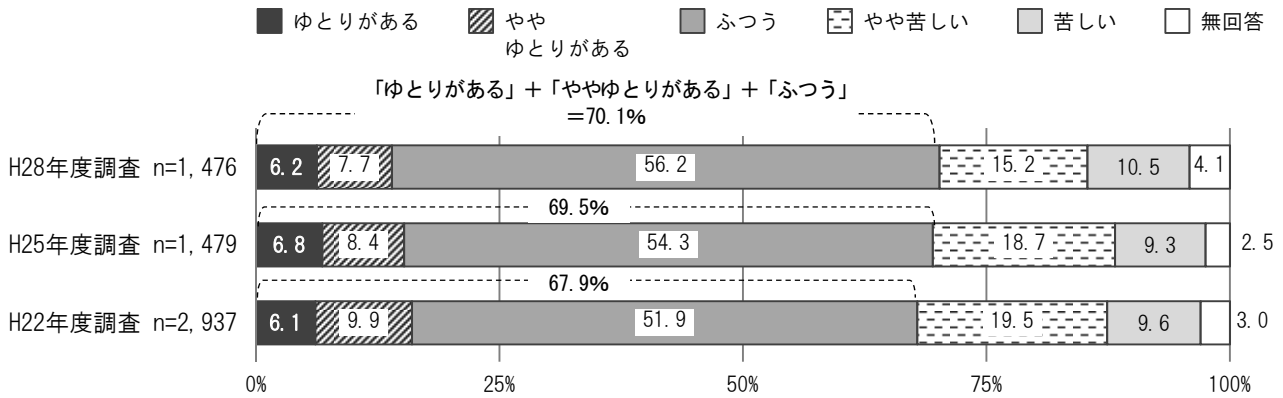
▶経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると 70.1%

- 健康状態別にみると、「よい」が 80.5%、「まあよい」が 81.1%となっている。[図表 3-48]
- 経年比較では、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると 70.1%で、平成 25 年度調査より 0.6 ポイント、平成 22 年度調査より 2.2 ポイント高くなっている。[図表 3-49]

図表 3-48 暮らし向き／健康状態別



図表 3-49 暮らし向き／経年比較



7 介護予防について

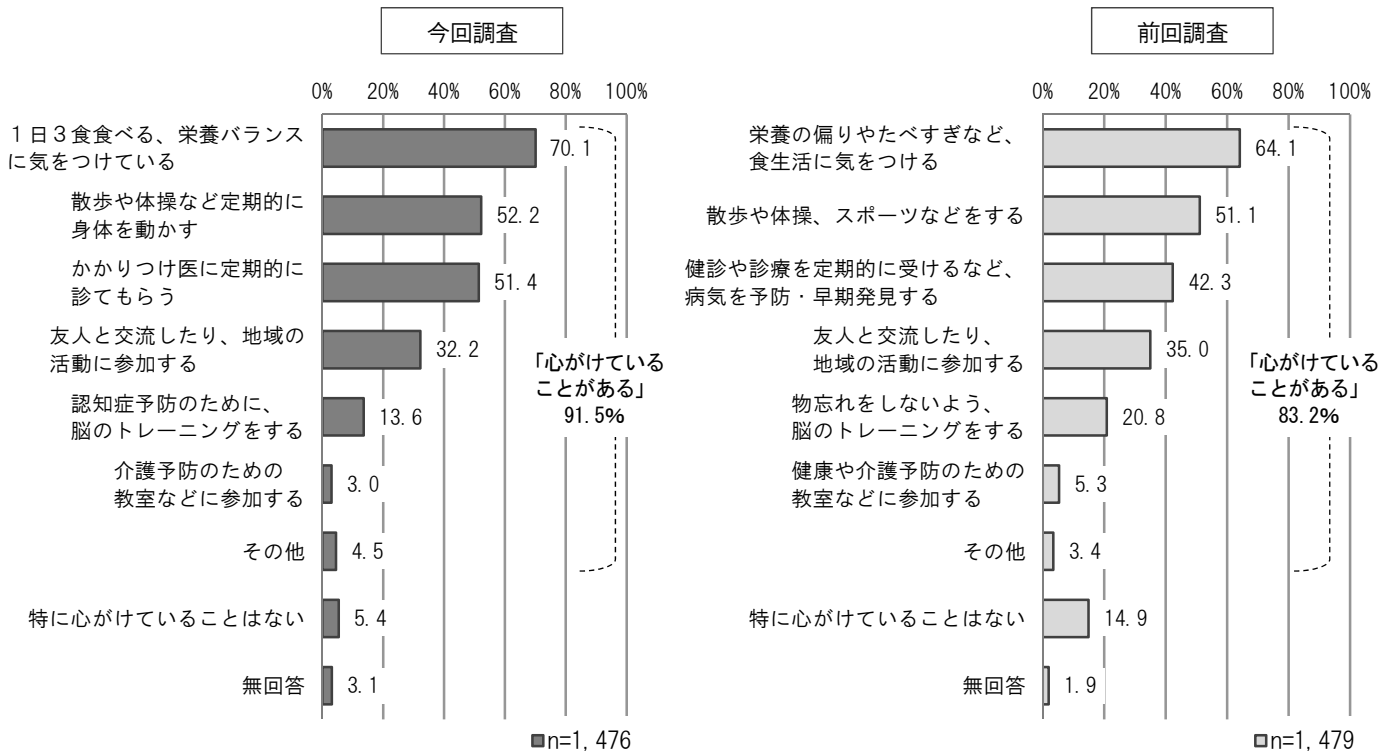
問 25 介護が必要にならないように、日ごろから心がけていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P219

▶介護が必要にならないために、日ごろから「心がけていることがある」が91.5%

- ・日ごろから「心がけていること」は、「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が70.1%、「散歩や体操など定期的に身体を動かす」が52.2%、「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」が51.4%となっている。[図表 3-50]
- ・経年比較では、「心がけていることがある」は91.5%で、前回調査より8.3ポイント高くなっている。[図表 3-50]

図表 3-50 介護が必要にならないために心がけていること（複数回答）／経年比較



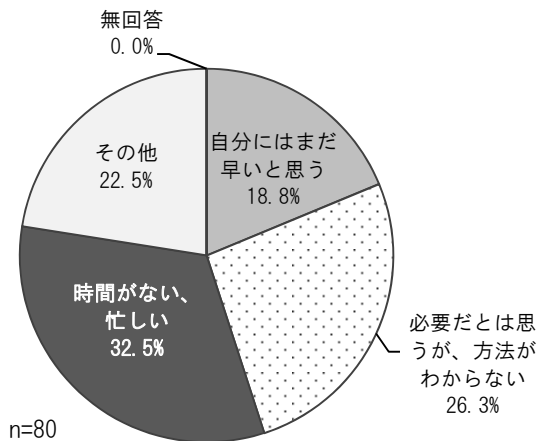
※ 「心がけていることがある」=100% - 「特に心がけていることはない」 - 「無回答」

問 25-1 「特に心がけていることはない」に○をした方におうかがいします。
 特に心がけていることはない理由を教えてください。（1つに○）

資料編：P220

▶特に心がけていることはないと回答した80人の理由は、「時間がない、忙しい」が32.5%、「必要だとは思いますが、方法がわからない」が26.3%

図表 3-51 介護予防について特に心がけていることはない理由



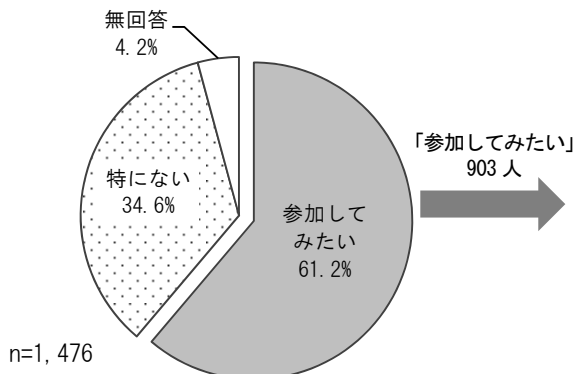
問 26 次のうち、あなたが参加してみたいと思う「介護予防教室」はありますか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P221

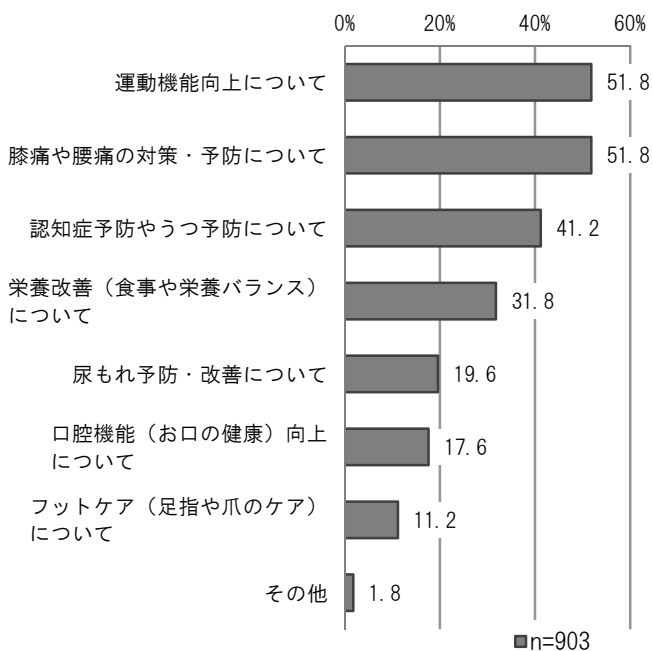
▶介護予防教室に「参加してみたい」が61.2%

・参加してみたい人は61.2%で、そのうち「運動機能向上について」「膝痛や腰痛の対策・予防について」が各51.8%、「認知症予防やうつ予防について」が41.2%となっている。
 [図表 3-52] [図表 3-53]

図表 3-52 介護予防教室への参加意向



図表 3-53 参加してみたい介護予防教室（複数回答）



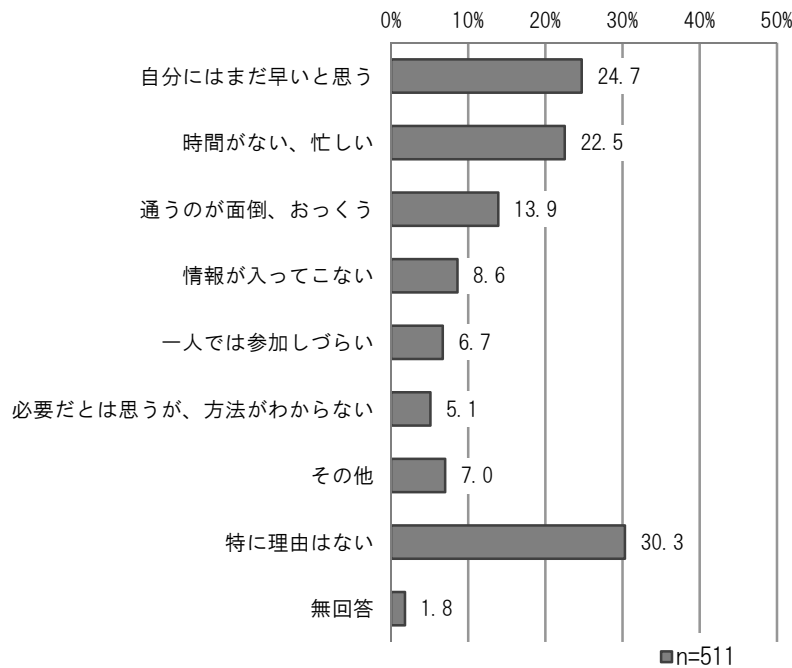
問 26-1 「特にない」に○をした方におうかがいします。介護予防教室に参加したいと思わない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P222

▶介護予防教室の参加意向で「特にない」と回答した 511 人の参加したいと思わない理由は、「特に理由はない」が 30.3%、「自分にはまだ早いと思う」が 24.7%

- ・性別にみると、男性は「自分にはまだ早いと思う」が 32.3%、女性は「時間がない、忙しい」が 24.9%となっている。[図表 3-55]
- ・年齢別にみると、65～74 歳は「自分にはまだ早いと思う」が高くなっている。[図表 3-55]

図表 3-54 介護予防教室に参加したいと思わない理由（複数回答）



図表 3-55 介護予防教室に参加したいと思わない理由（複数回答）／性別・年齢別

単位：%

項目	回答者数(人)	自分にはまだ早いと思う	時間がない、忙しい	通うのが面倒、おっくう	情報が入ってこない	一人では参加しづらい	必要だとは思いますが、方法がわからない	その他	特に理由はない	無回答	
		全体	511	24.7	22.5	13.9	8.6	6.7	5.1	7.0	30.3
性別	男性	269	32.3	20.1	14.1	9.3	5.9	5.9	6.7	26.8	0.7
	女性	229	16.6	24.9	14.4	7.9	7.4	4.4	7.4	34.9	2.2
年齢	65～69歳	147	34.0	29.3	14.3	8.8	5.4	8.8	5.4	21.1	1.4
	70～74歳	120	32.5	25.0	12.5	9.2	8.3	3.3	7.5	20.8	0.8
	75～79歳	107	18.7	18.7	14.0	4.7	0.9	1.9	9.3	37.4	1.9
	80～84歳	75	14.7	16.0	13.3	10.7	9.3	5.3	6.7	45.3	2.7
	85歳以上	43	4.7	20.1	14.1	9.3	5.9	5.9	7.0	46.5	0.0

8 認知症や成年後見制度について

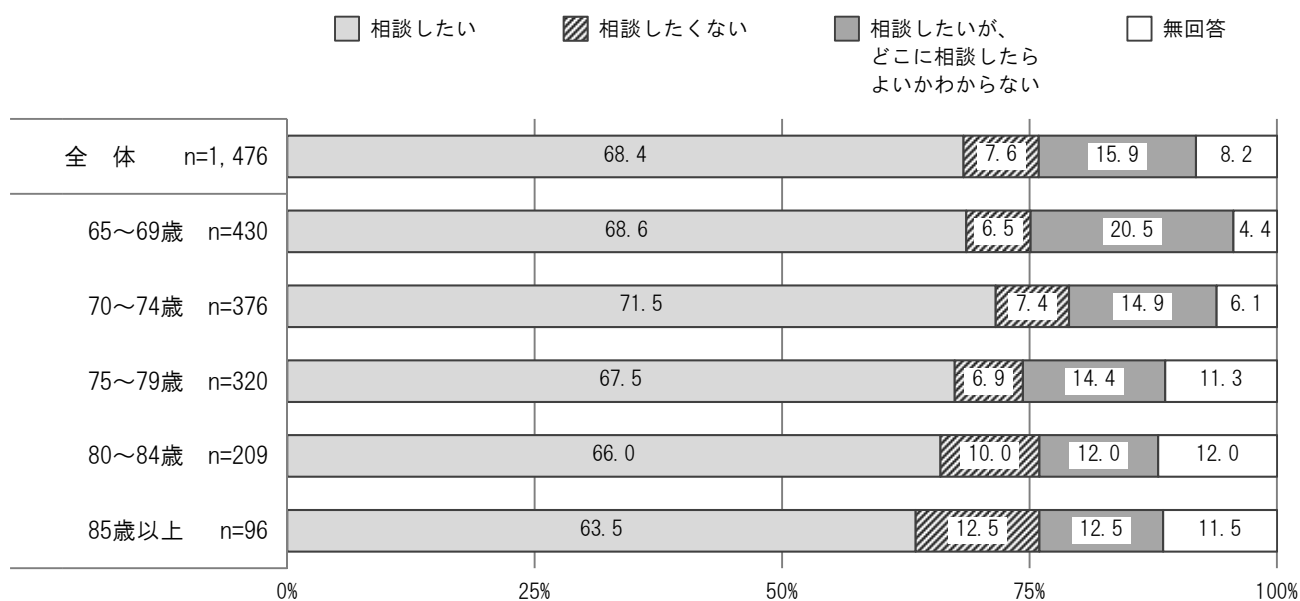
問 27 あなたが、認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外でどこかに相談したいと思いますか。（1つに〇）

資料編：P223

▶ 認知症になった（かもしれない）ときに、家族以外に「相談したい」が 68.4%

- ・「相談したいが、どこに相談したらよいかわからない」が 15.9%となっている。[図表 3-56]
- ・年齢別にみると、「相談したい」は 70～74 歳が 71.5%、一方、「相談したいがどこに相談したらよいかわからない」は 65～69 歳が 20.5%で高くなっている。[図表 3-56]

図表 3-56 認知症について家族以外に相談する意向／年齢別



問 27-1 「相談したい」に○をした方におうかがいします。
どこに最初に相談しますか。（1つに○）

資料編：P224

▶相談したいと回答した1,009人の家族以外の相談先は、「かかりつけ医、近所の医院」が57.5%

・年齢別にみると、最初の相談先が「かかりつけ医、近所の医院」は85歳以上が77.0%、80～84歳が71.0%で高くなっている。[図表3-57]

図表 3-57 家族以外の最初の相談先／年齢別

単位：%

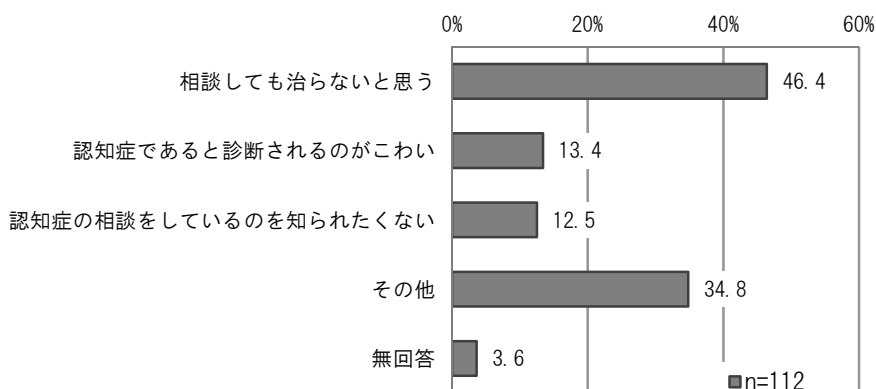
項目	回答者数(人)	かかりつけ医、近所の医院	療養機関 精神科や認知症専門の医	地域包括支援センター	ケアマネジャー、介護サ ビス事業所	保健所・保健相談センター	区役所の相談窓口	その他	無回答	
全 体	1,009	57.5	18.9	5.4	1.6	1.8	6.8	1.4	6.6	
年 齢	65～69歳	295	50.8	27.1	5.4	1.4	1.4	7.1	1.4	5.4
	70～74歳	269	55.4	17.5	5.9	1.1	3.3	8.6	1.5	6.7
	75～79歳	216	54.6	20.4	4.2	1.9	1.4	7.4	1.4	8.8
	80～84歳	138	71.0	9.4	6.5	2.2	1.4	2.2	1.4	5.8
	85歳以上	61	77.0	4.9	3.3	3.3	0.0	8.2	1.6	1.6

問 27-2 「相談したくない」に○をした方におうかがいします。相談したくない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P225

▶相談したくないと回答した112人の相談したくない理由は、「相談しても治らないと思う」が46.4%

図表 3-58 家族以外に相談したくない理由（複数回答）

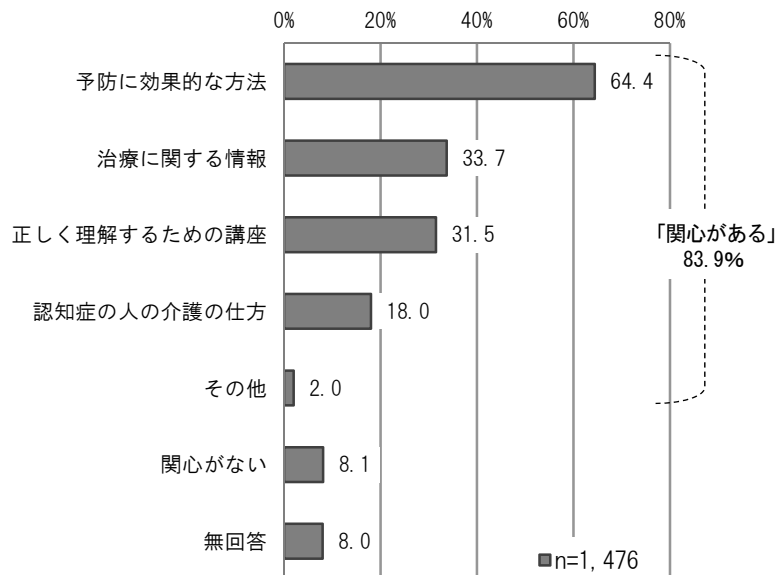


問 28 あなたは、認知症のどんなことに関心がありますか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P226

▶認知症について「関心がある」は83.9%で、そのうち「予防に効果的な方法」が64.4%、「治療に関する情報」が33.7%

図表 3-59 認知症について関心があること（複数回答）



※「関心がある」=100% - 「関心がない」 - 「無回答」

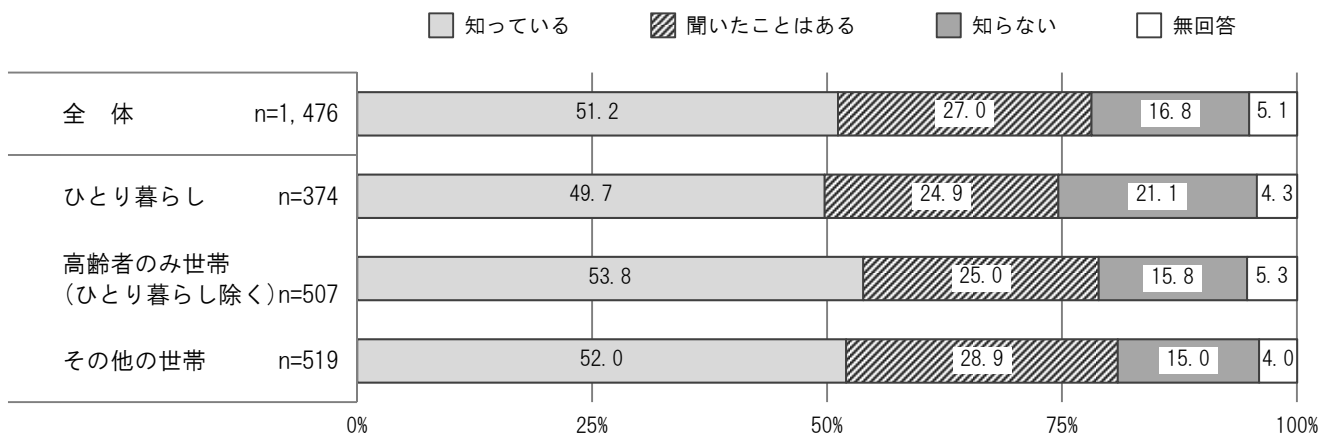
問 29 認知症などにより判断能力が十分でない人に、本人の権利を守るための援助者を選び、不動産や預貯金などを管理し、施設への入所に関する契約などを支援する「成年後見制度」を知っていますか。（1つに○）

資料編：P226

▶成年後見制度について「知っている」は51.2%

・家族構成別にみると、「知っている」は高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）が53.8%、一方、「知らない」は、ひとり暮らしが21.1%で高くなっている。[図表 3-60]

図表 3-60 成年後見制度の認知度／家族構成別



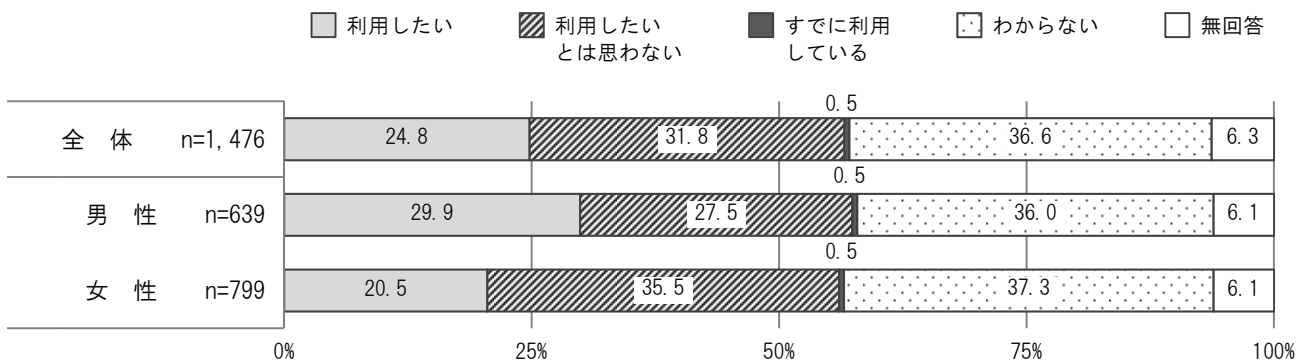
問 30 あなたやご家族が、認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか。（1つに○）

資料編：P227

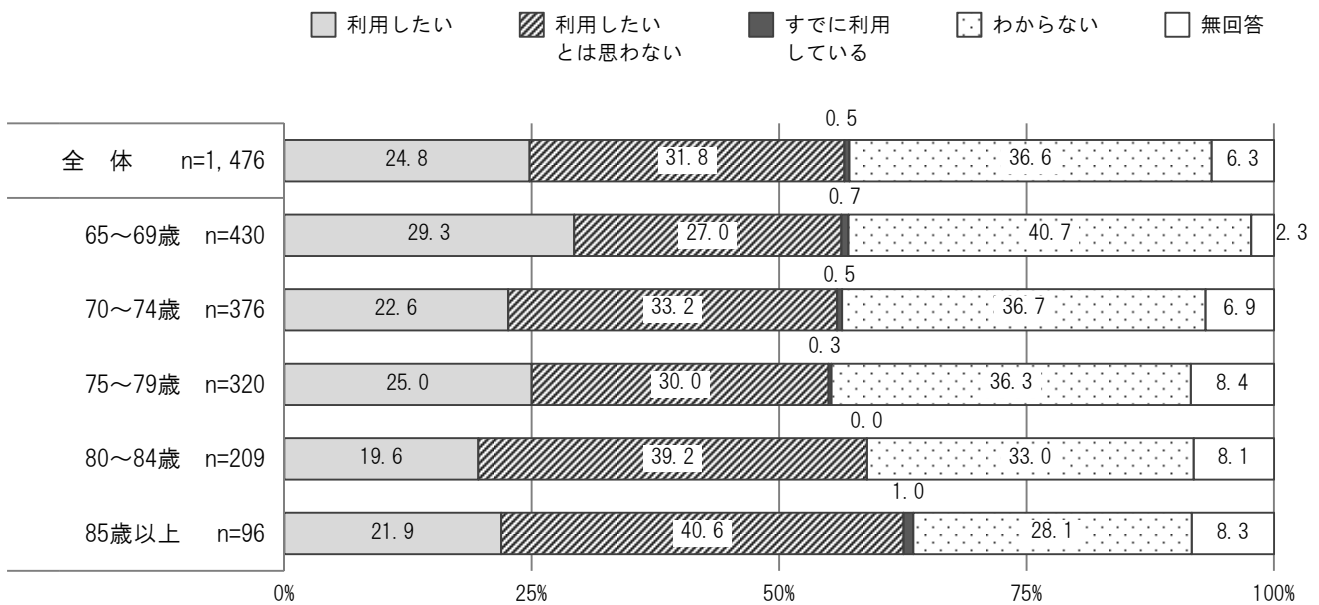
▶成年後見制度の利用意向は、「わからない」が36.6%、「利用したいとは思わない」が31.8%

- ・性別にみると、「利用したい」は男性が29.9%、女性が20.5%、「利用したいとは思わない」は女性が35.5%、男性が27.5%となっている。[図表3-61]
- ・年齢別にみると、「利用したくない」は85歳以上が40.6%、80～84歳が39.2%となっている。[図表3-62]

図表 3-61 成年後見制度の利用意向／性別



図表 3-62 成年後見制度の利用意向／年齢別



9 在宅療養について

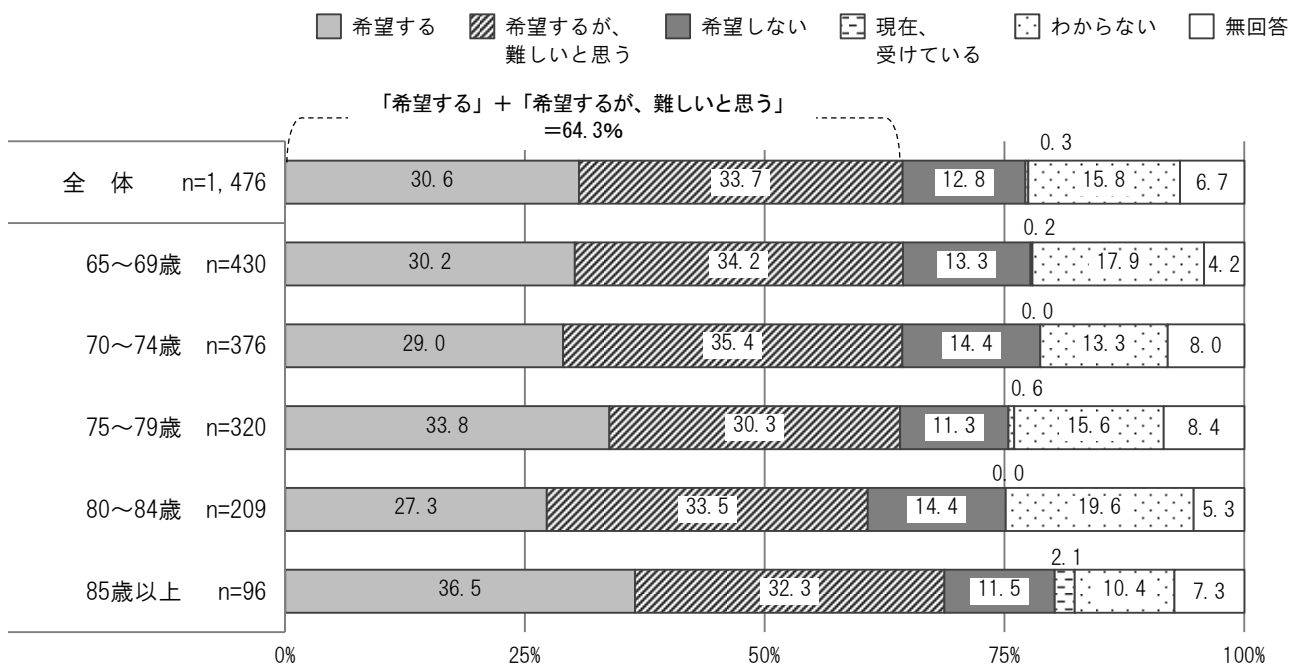
問 31 あなたが病気やけがで長期の療養が必要になり、通院が困難になった場合、自宅で療養することを望みますか。（近いもの1つに○）

資料編：P227

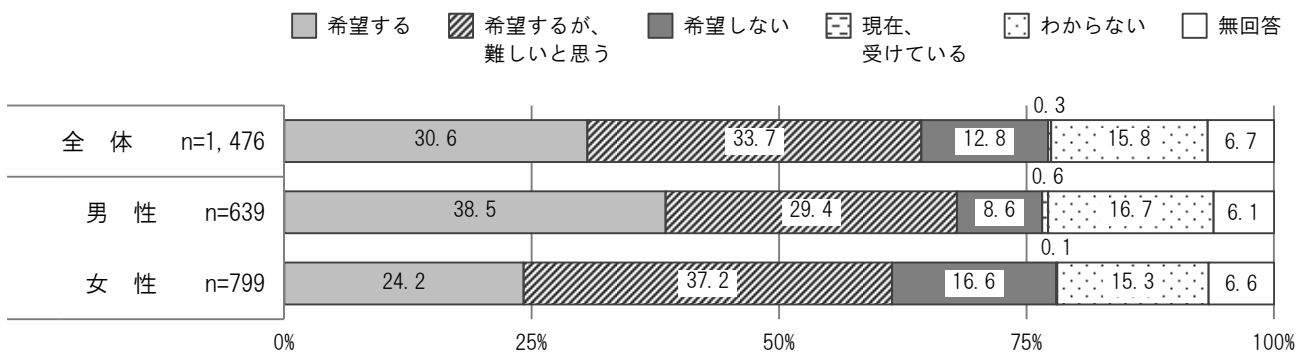
▶在宅療養について「希望する」「希望するが、難しいと思う」を合わせると64.3%

- ・年齢別にみると、「希望する」は85歳以上が36.5%、「希望するが、難しいと思う」は70～74歳が35.4%となっている。[図表3-63]
- ・性別にみると、「希望する」は男性が38.5%、女性が24.2%、「希望するが、難しいと思う」は女性が37.2%、男性が29.4%となっている。[図表3-64]

図表 3-63 在宅療養の意向／年齢別

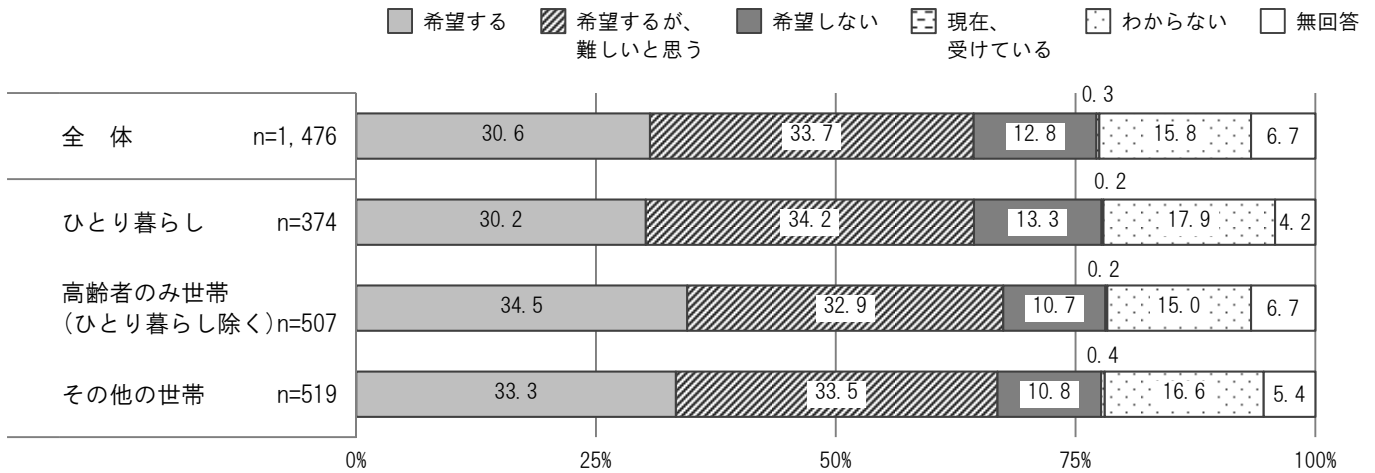


図表 3-64 在宅療養の意向／性別

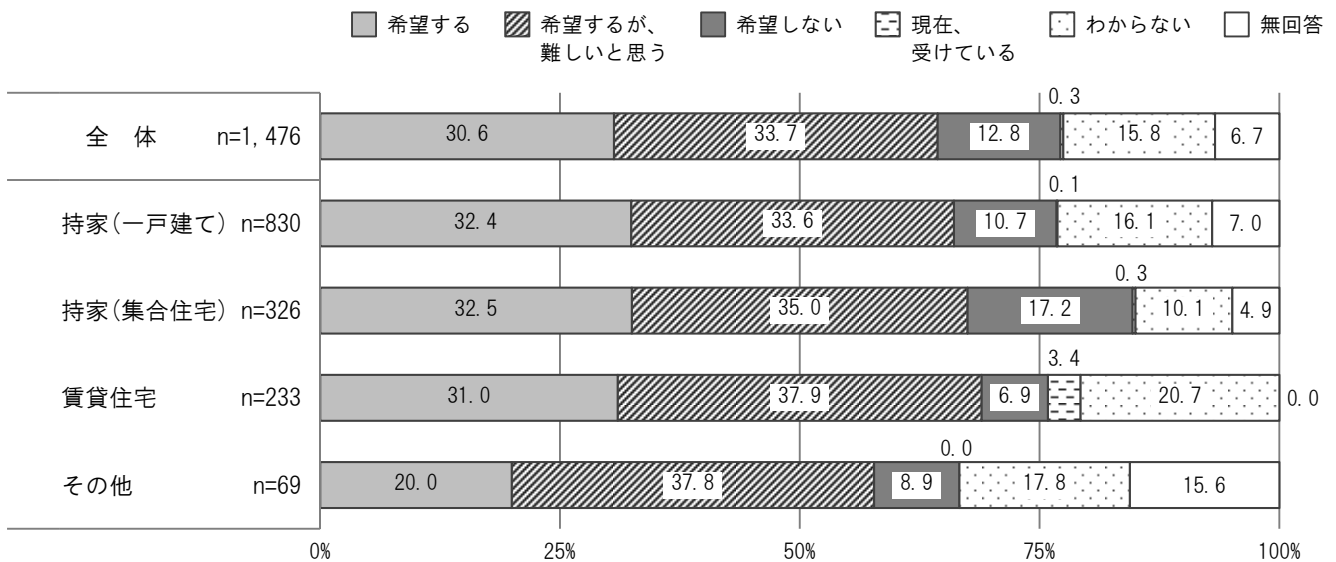


- ・家族構成別にみると、「希望する」は高齢者のみ世帯（ひとり暮らし除く）が34.5%、「希望するが、難しいと思う」はひとり暮らしが34.2%となっている。[図表 3-65]
- ・住まいの形態別にみると、「希望する」は「持ち家（集合住宅）」が32.5%、「持ち家（一戸建て）」が32.4%、「希望するが、難しいと思う」は賃貸住宅が37.9%となっている。[図表 3-66]

図表 3-65 在宅療養の意向／家族構成別



図表 3-66 在宅療養の意向／住まいの形態別

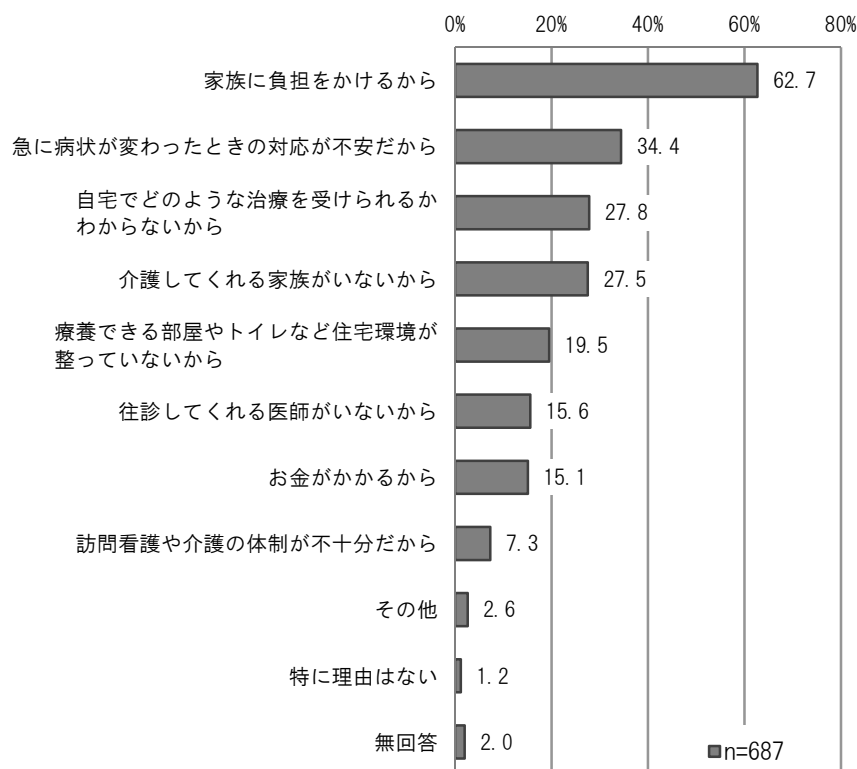


問 31-1 「希望するが、難しいと思う」「希望しない」に○をした方におうかがいします。自宅での療養を希望しない、または難しいと思うのは、なぜですか。（主なもの3つまでに○）

資料編：P228

▶在宅療養について「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した687人の理由は、「家族に負担をかけるから」が62.7%、「急に病状が変わったときの対応が不安だから」が34.4%

図表 3-67 在宅療養が難しい、希望しない理由（複数回答）



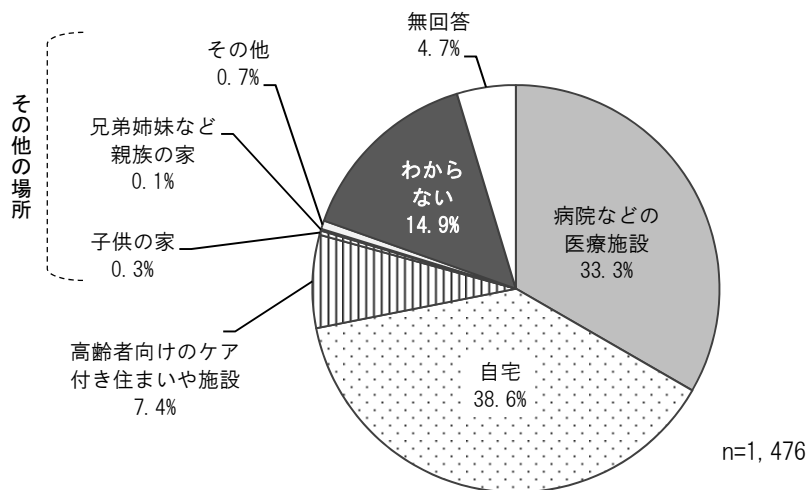
問 32 あなたが病気などで人生の最期を迎えるときは、どこで過ごしたいと思いますか。(1つに○)

資料編：P229

▶人生の最期を迎えるときに過ごす場所は、「自宅」が38.6%、「病院などの医療施設」は33.3%

- ・性別にみると、男性は「自宅」が47.3%、女性は「病院などの医療施設」が39.0%となっている。[図表3-69]
- ・年齢別にみると、「病院などの医療施設」は80～84歳が43.1%、「自宅」は85歳以上が41.7%で高くなっている。[図表3-69]

図表 3-68 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所



図表 3-69 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所／性別・年齢別

単位：%

項目	回答者数(人)	病院などの医療施設	自宅	高齢者向けのケア付き 住まいや施設	その他の場所(子供の 家、兄弟姉妹など親族 の家、その他)	わからない	無回答
全体	1,476	33.3	38.6	7.4	1.1	14.9	4.7
性別	男性	26.4	47.3	5.3	1.3	15.2	4.5
	女性	39.0	31.5	9.0	1.2	14.6	4.6
年齢	65～69歳	26.5	40.7	9.5	1.9	17.9	3.5
	70～74歳	35.4	36.2	6.6	0.8	14.6	6.4
	75～79歳	32.5	38.8	6.9	0.6	15.6	5.6
	80～84歳	43.1	36.8	5.3	0.5	11.0	3.3
	85歳以上	41.7	41.7	5.2	2.1	7.3	2.1

10 介護保険制度について

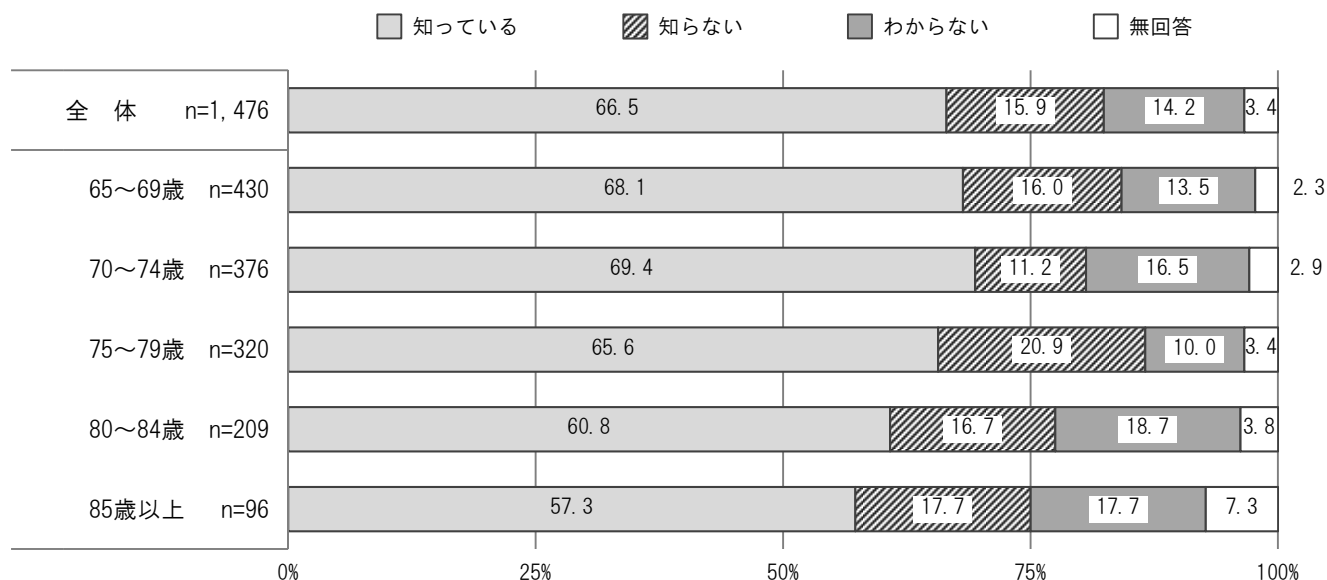
問 33 介護保険制度は、社会全体で介護の負担を支え合うことを目指し、40 歳以上の方が保険料を出し合って、介護を必要とする方がサービスを利用できるしくみになっています。あなたは、介護保険制度のしくみをご存知ですか。
(1つに○)

資料編：P230

▶介護保険制度のしくみを「知っている」は66.5%

- ・年齢別にみると、「知っている」は70～74歳が69.4%、「知らない」は75～79歳が20.9%となっている。[図表 3-70]

図表 3-70 介護保険制度のしくみの認知度／年齢別

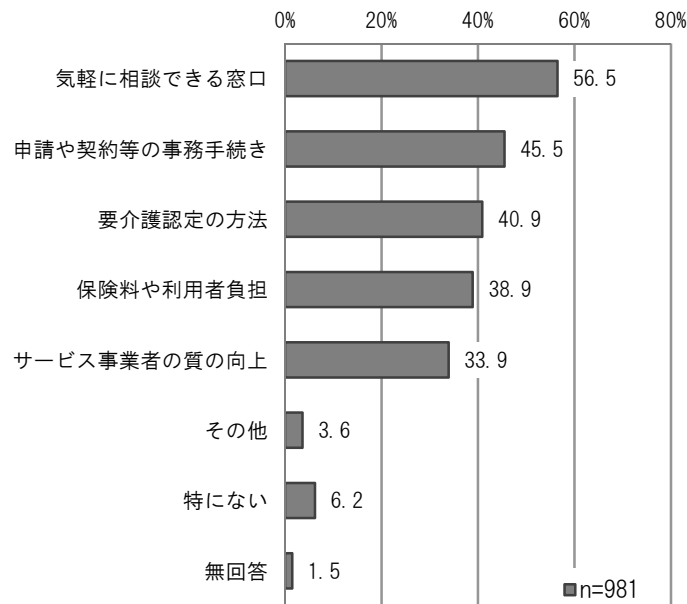


問 33-1 「知っている」に○をした方におうかがいします。より良い介護保険制度にしていくために、どのようなことを改善してほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P231

▶介護保険制度を知っていると回答した 981 人のうち、改善してほしいことは「気軽に相談できる窓口」が 56.5%、「申請や契約等の事務手続き」が 45.5%

図表 3-71 介護保険制度で改善してほしいこと（複数回答）



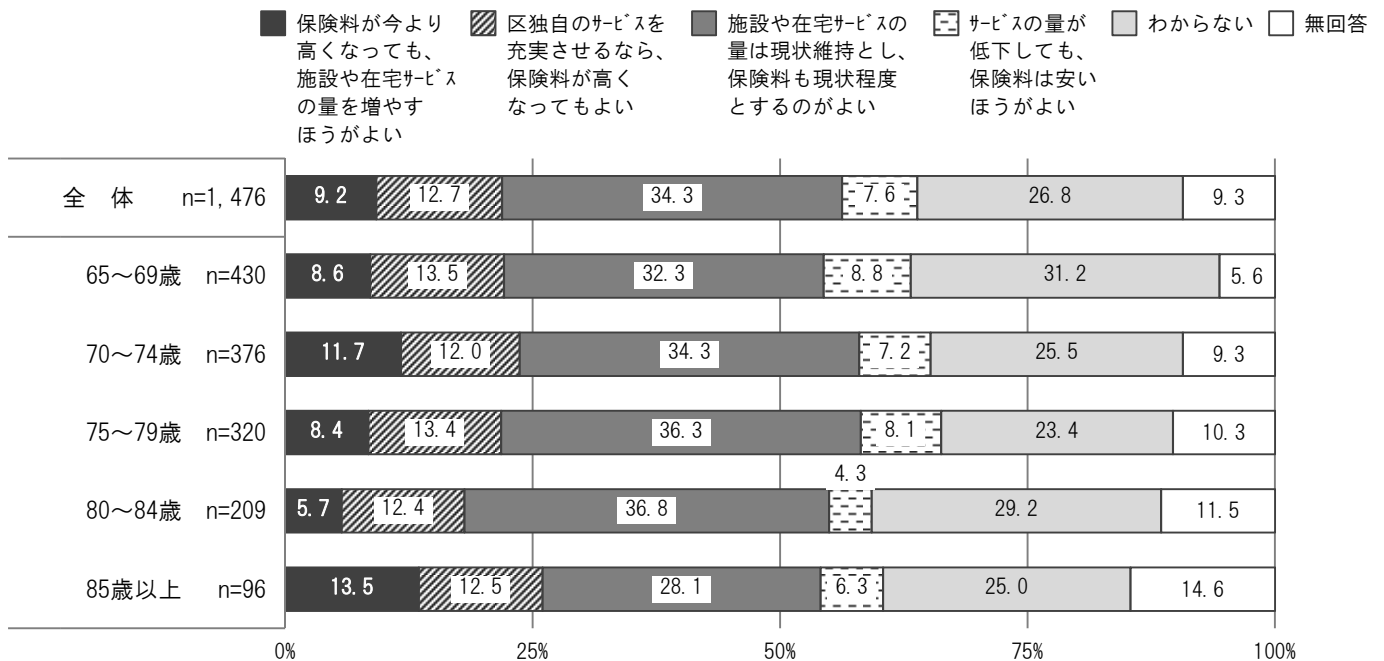
問 34 介護保険料は、区全体の介護サービスの利用状況や過去の実績などから、3年毎に区が決定しています。介護保険料とサービスについて、あなたのお考えに最も近いのはどれですか。（近いもの1つに○）

資料編：P232

▶介護保険料とサービスは、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状維持とするのがよい」が34.3%

・年齢別にみても、全体とあまり変わらない割合となっている。[図表 3-72]

図表 3-72 介護保険料とサービスについて／年齢別



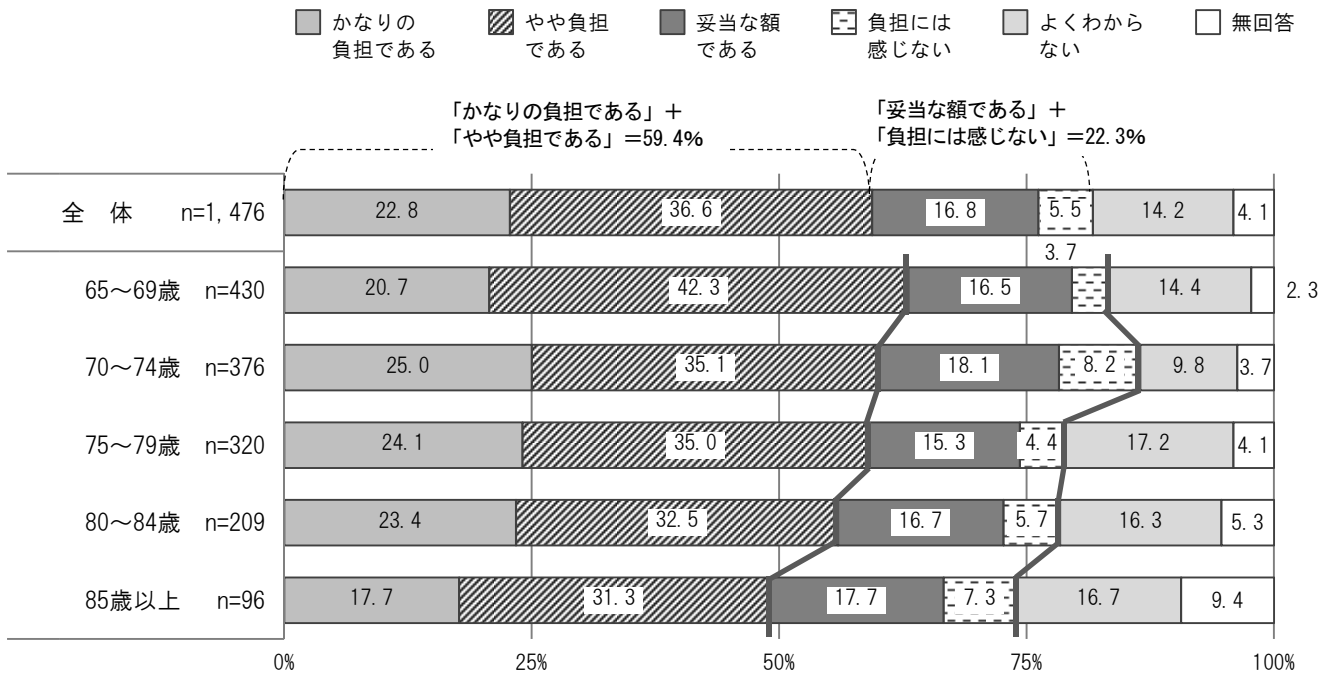
問35 あなたは、介護保険料の額をどのように感じていますか。(1つに○)

資料編：P232

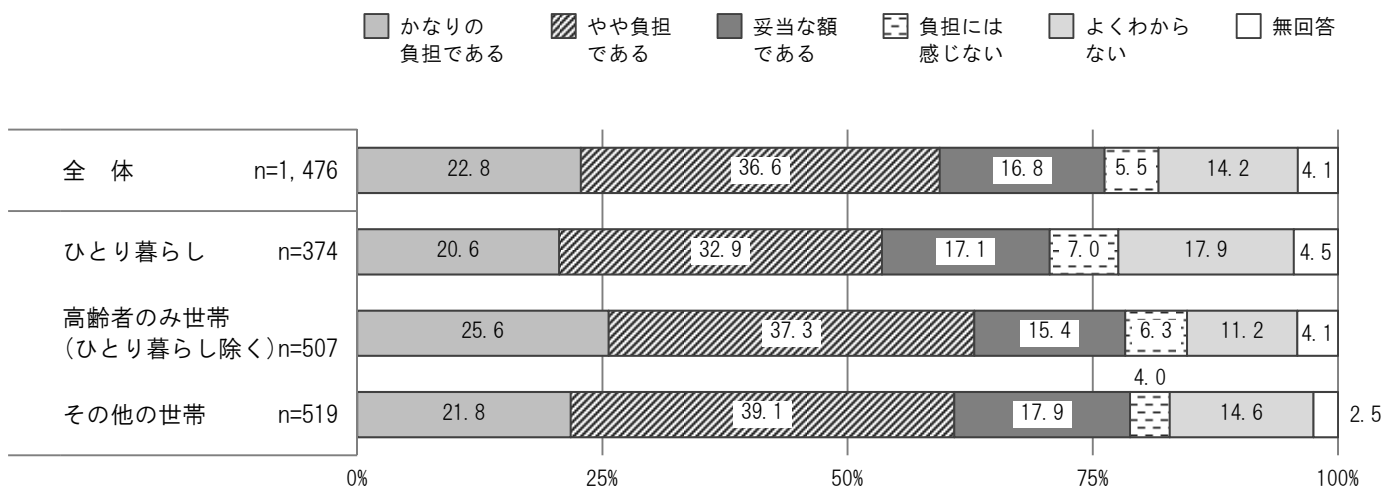
▶介護保険料の額について「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると59.4%、「妥当な額である」が16.8%、「負担には感じない」が5.5%

・年齢別にみると、「やや負担である」は65～69歳が42.3%、家族構成別にみると、「やや負担である」は、その他の世帯が39.1%となっている。[図表3-73]

図表3-73 介護保険料の額について／年齢別



図表3-74 介護保険料の額について／家族構成別



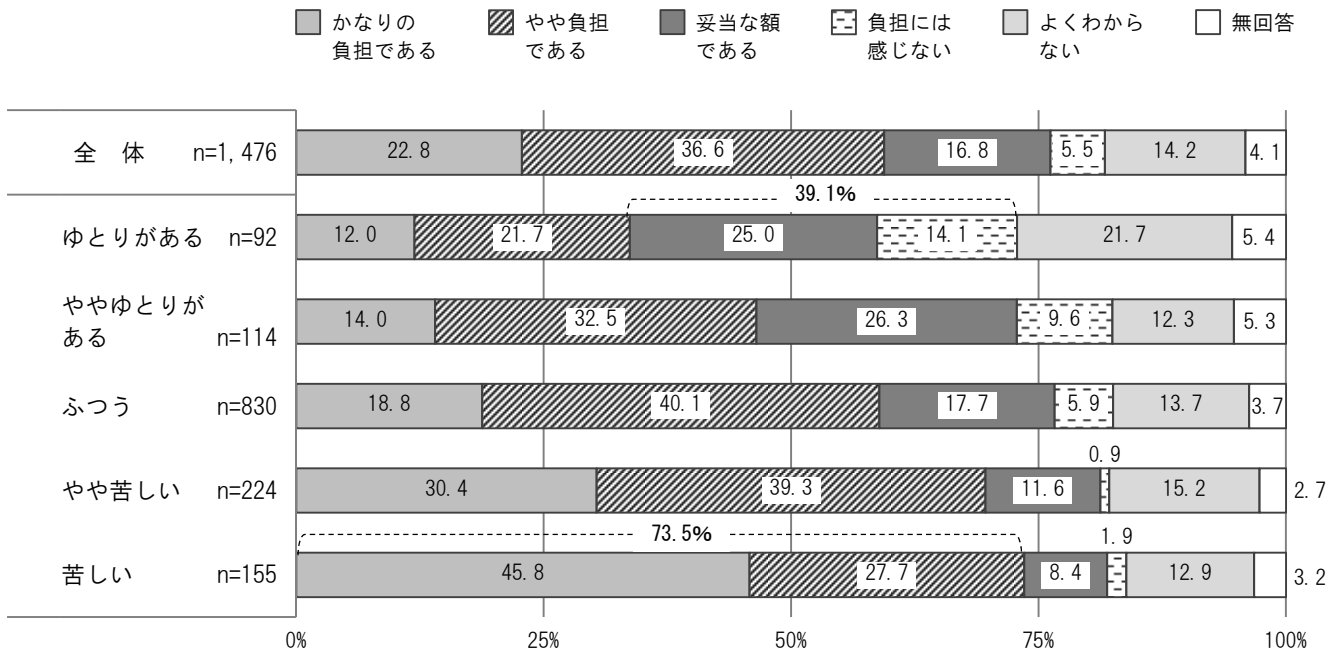
第3章 一般高齢者調査の結果

- ・暮らし向き別にみると、「ゆとりがある」は「妥当な額である」「負担に感じない」が 39.1%、「苦しい」は「かなりの負担である」「やや負担である」が 73.5%となっている。

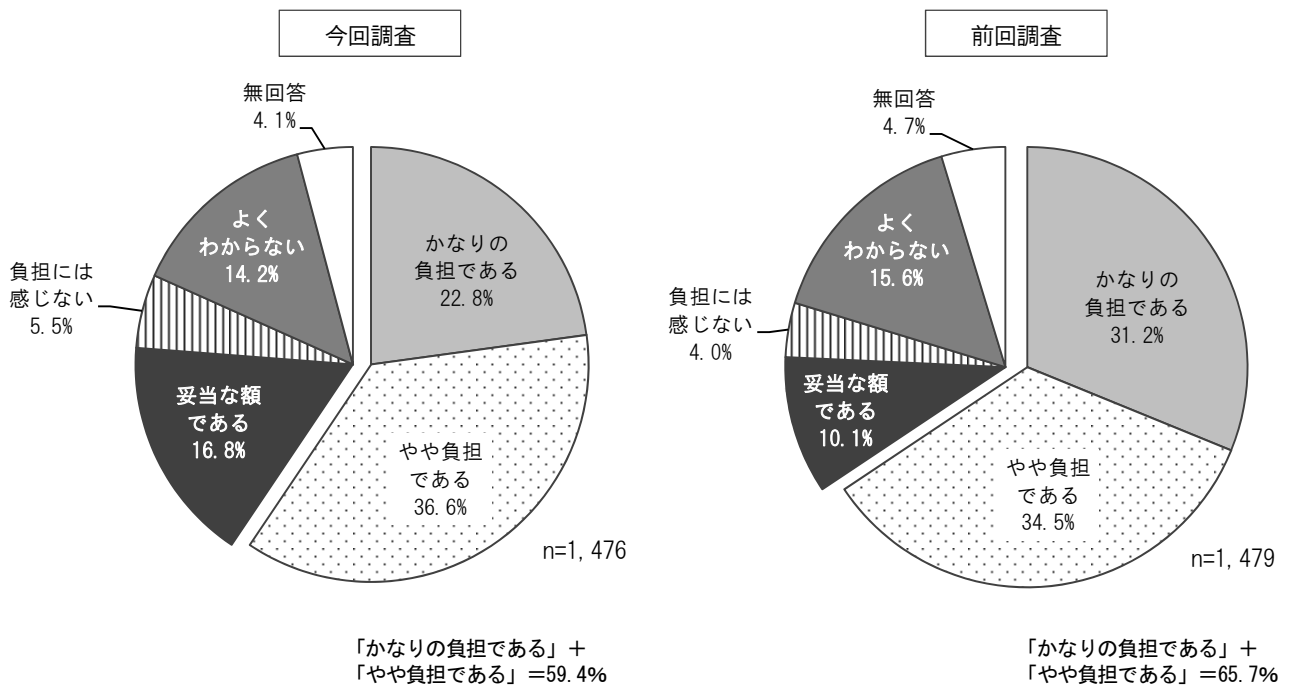
[図表 3-75]

- ・経年比較では、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると 59.4%で、前回調査より 6.3 ポイント低くなっている。[図表 3-76]

図表 3-75 介護保険料の額について／暮らし向き別



図表 3-76 介護保険料の額について／経年比較



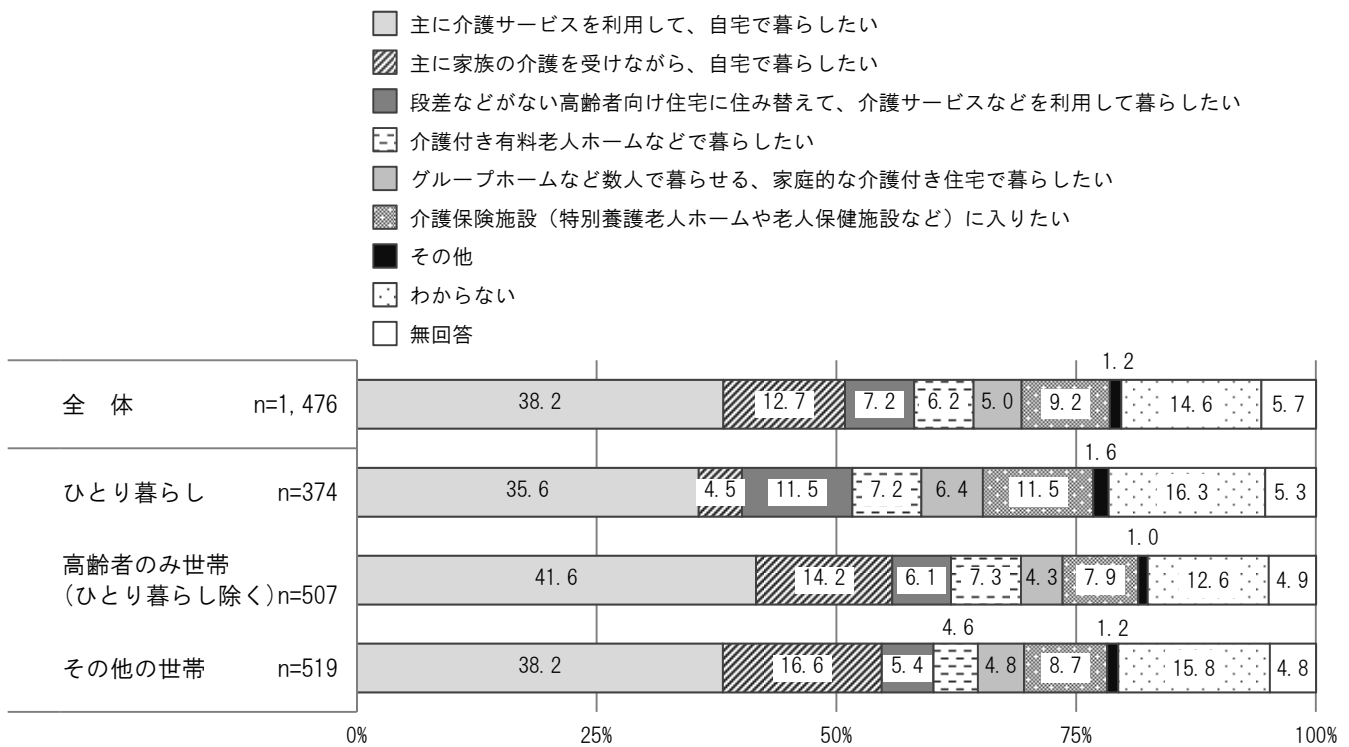
問 36 今後、あなたに介護が必要となった場合、どのような暮らし方を希望しますか。
(近いもの1つに○)

資料編：P233

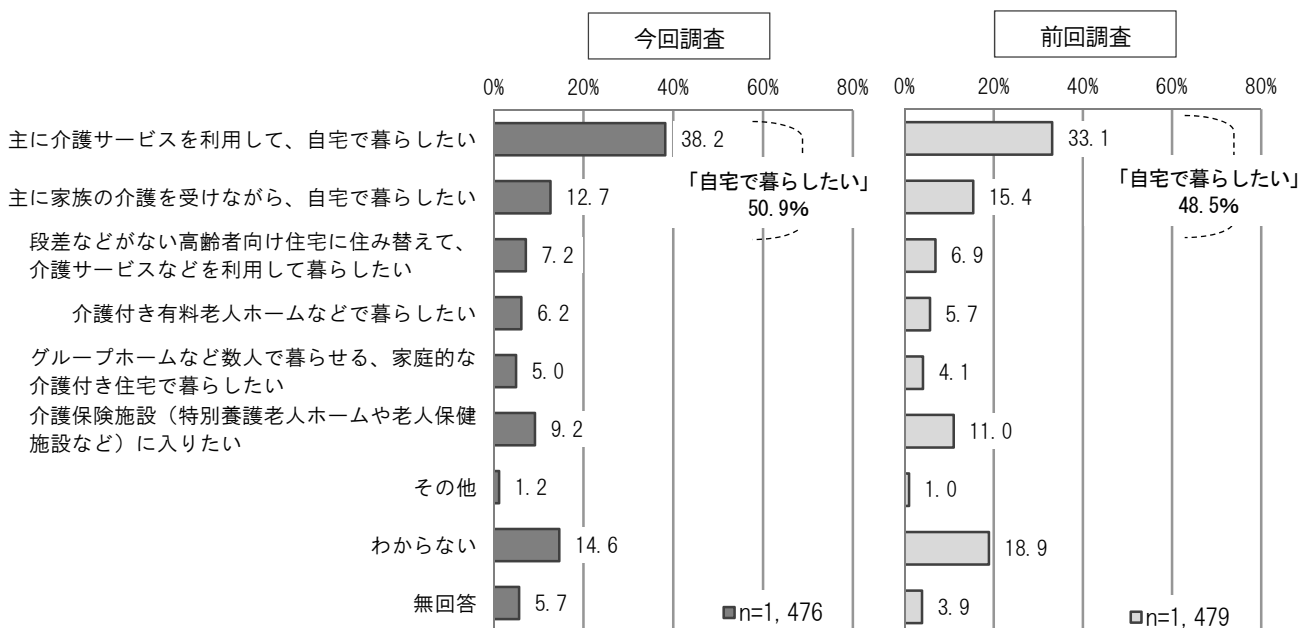
▶ 今後、介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が38.2%

・経年比較では、「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」を合わせると50.9%で、前回調査より2.4ポイント高くなっている。[図表3-78]

図表 3-77 今後、要介護になった場合の暮らし方／家族構成別



図表 3-78 今後、要介護になった場合の暮らし方／経年比較



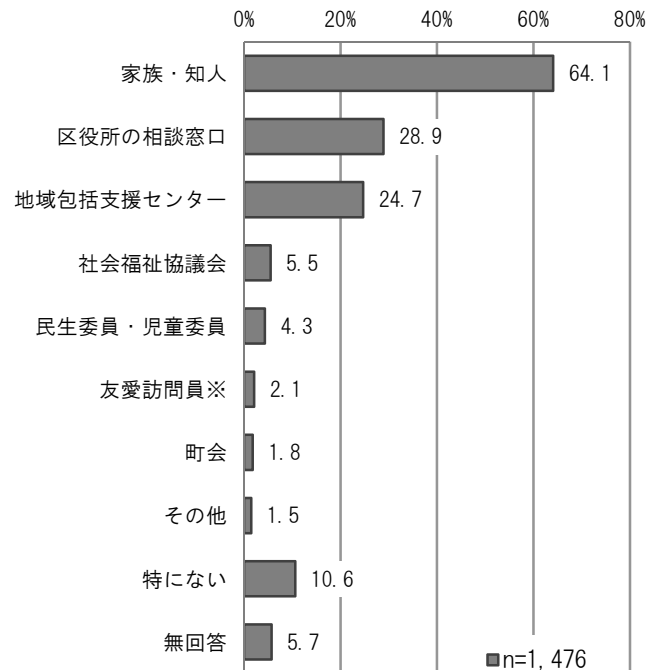
11 相談先について

問 37 ご自身や家族の介護、生活の不安などについての相談先はどちらですか。
(あてはまるものすべてに○)

資料編：P234

▶ 家族の介護や生活不安の相談先は、「家族・知人」が64.1%、「区役所の相談窓口」が28.9%

図表 3-79 介護や生活不安の相談先（複数回答）



※友愛訪問員…区内にお住まいで希望するひとり暮らし等の高齢者に対し、訪問や電話をして話し相手や安否の確認をする。

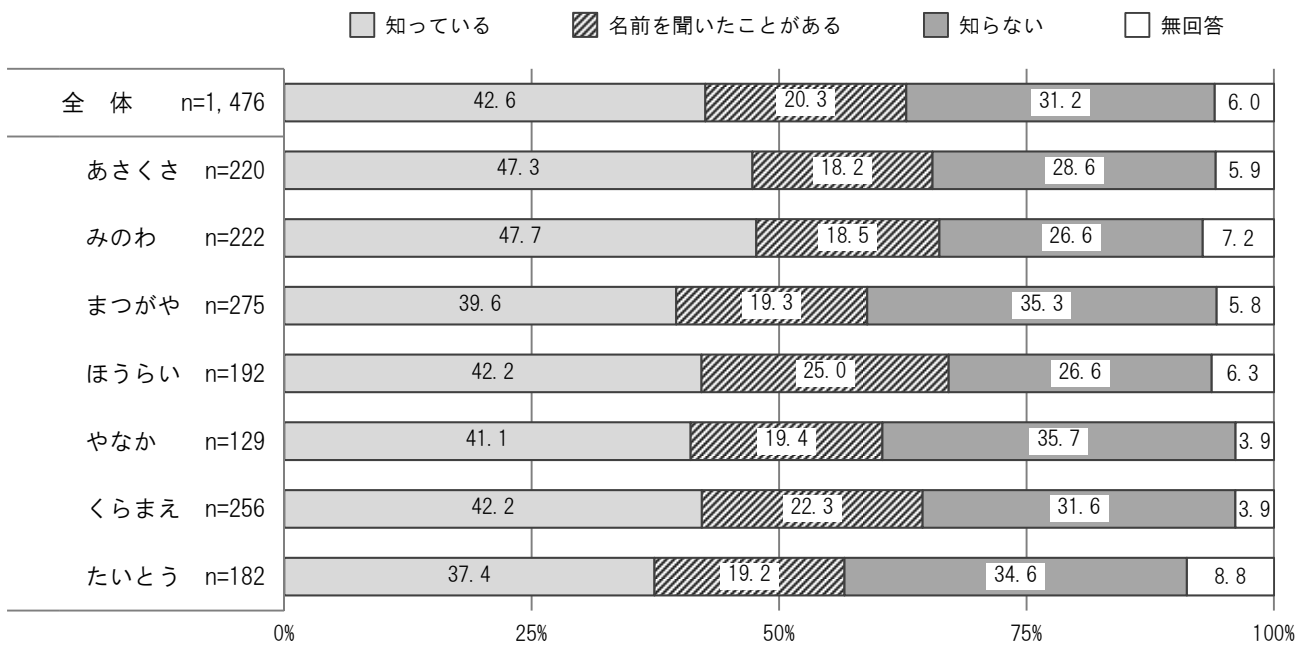
問 38 区内7か所にある地域包括支援センター（あさくさ、やなか、みのわ、まつがや、くらまえ、たいとう、ほうらい）では、高齢者の方の相談や介護サービスの手続き、調整を行っています。
あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。（1つに○）

資料編：P235

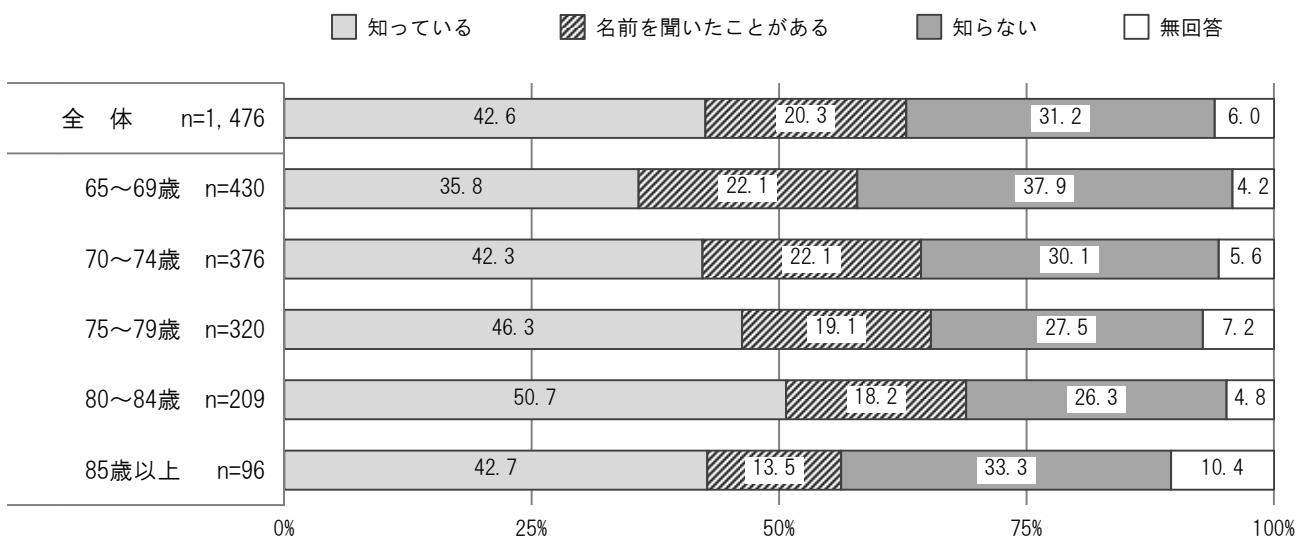
▶地域包括支援センターの認知度は、「知っている」が42.6%、包括別は「みのわ」が47.7%

・年齢別にみると、「知っている」は80～84歳が50.7%、「知らない」は65～69歳が37.8%で高くなっている。[図表3-81]

図表3-80 地域包括支援センターの認知度／包括別



図表3-81 地域包括支援センターの認知度／年齢別



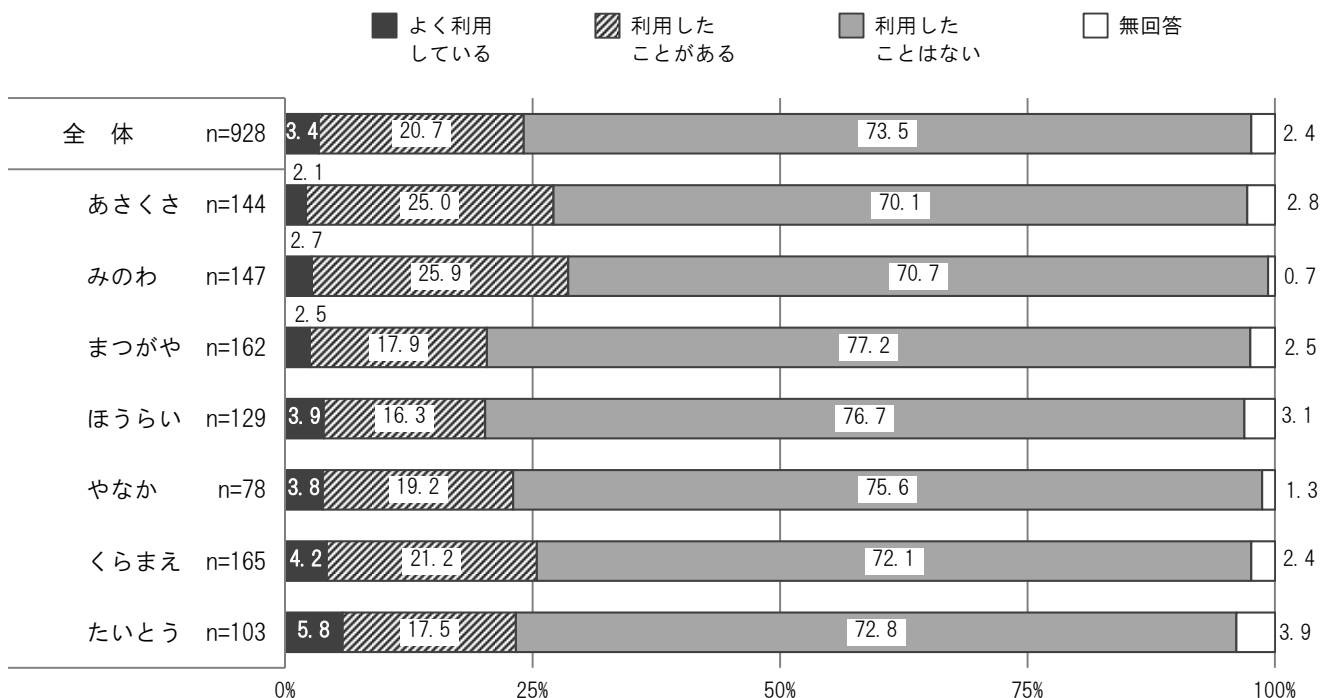
問 38-1 「知っている」「名前を聞いたことがある」に○をした方におうかがいします。あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。
(1つに○)

資料編：P235

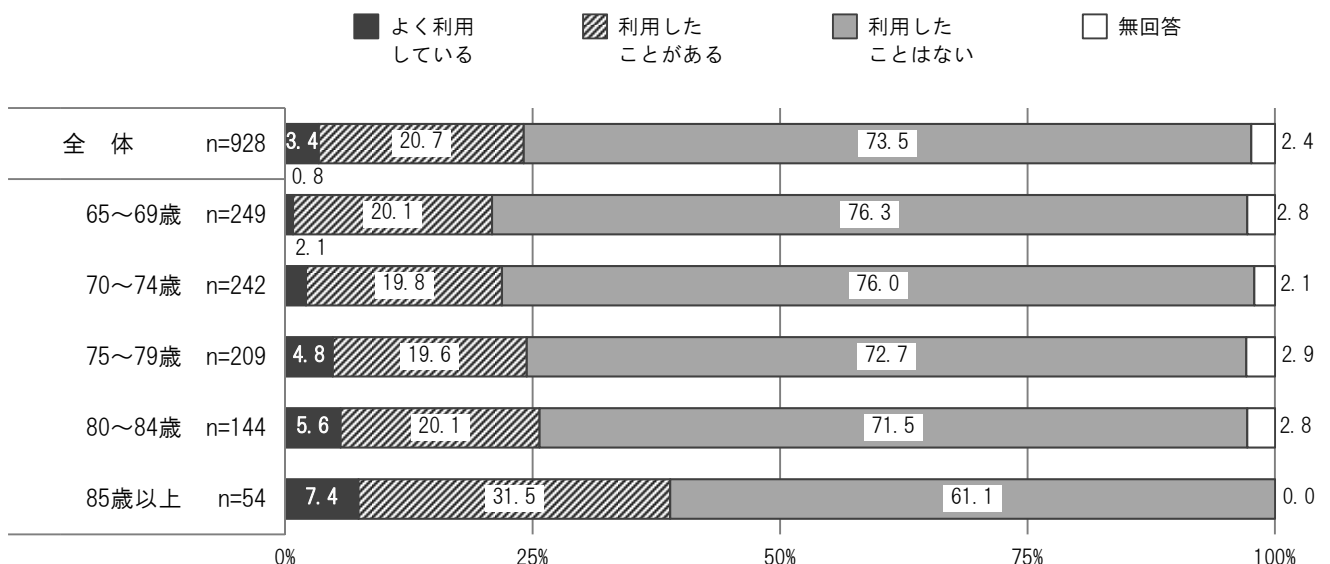
▶ 「知っている」「名前を聞いたことがある」と回答した 928 人のうち、地域包括支援センターの利用状況は「利用したことはない」が 73.5%

- ・包括別にみると、「よく利用している」「利用したことがある」を合わせると、「みのわ」が 28.6%、「あさくさ」が 27.1%となっている。[図表 3-82]
- ・年齢別にみると、「よく利用している」「利用したことがある」を合わせると、85 歳以上が 38.9%となっている。[図表 3-83]

図表 3-82 地域包括支援センターの利用状況／包括別



図表 3-83 地域包括支援センターの利用状況／年齢別



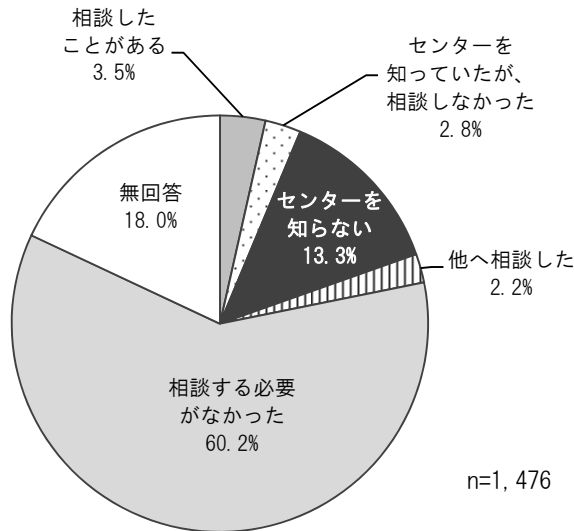
問 39 悪質商法や契約・買い物で、台東区消費生活センターへ相談したことがありますか。(1つに○)

資料編：P236

▶台東区消費生活センターへの相談状況は、「相談したことがある」が3.5%

- ・「相談する必要がなかった」が60.2%、「センターを知らない」が13.3%、「センターを知っていたが、相談しなかった」が2.8%となっている。[図表 3-84]

図表 3-84 台東区消費生活センターへの相談状況



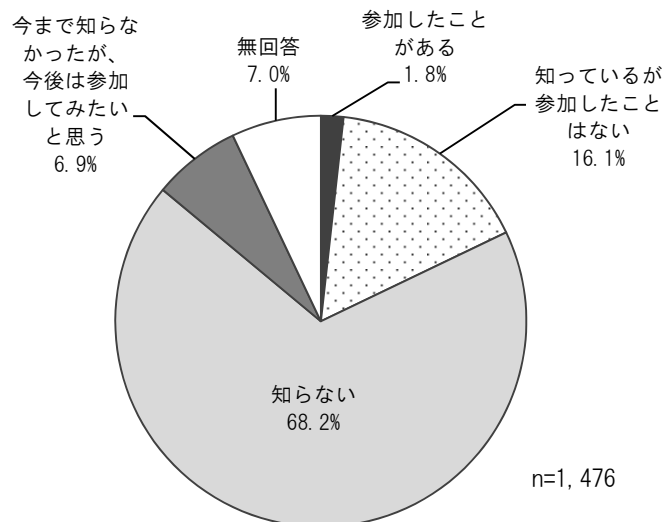
※消費生活センター…契約に関するトラブルや、商品・サービスに関する相談について、専門の相談員が皆さんと一緒に考え、解決のお手伝いをする場所。

問 40 台東区消費生活センターが実施している悪質商法の未然防止等の出前講座を知っていますか。(1つに○)

資料編：P236

▶台東区消費生活センターの出前講座の認知度は、「知らない」が68.2%

図表 3-85 台東区消費生活センターの出前講座の認知度



12 区の高齢者福祉施策について

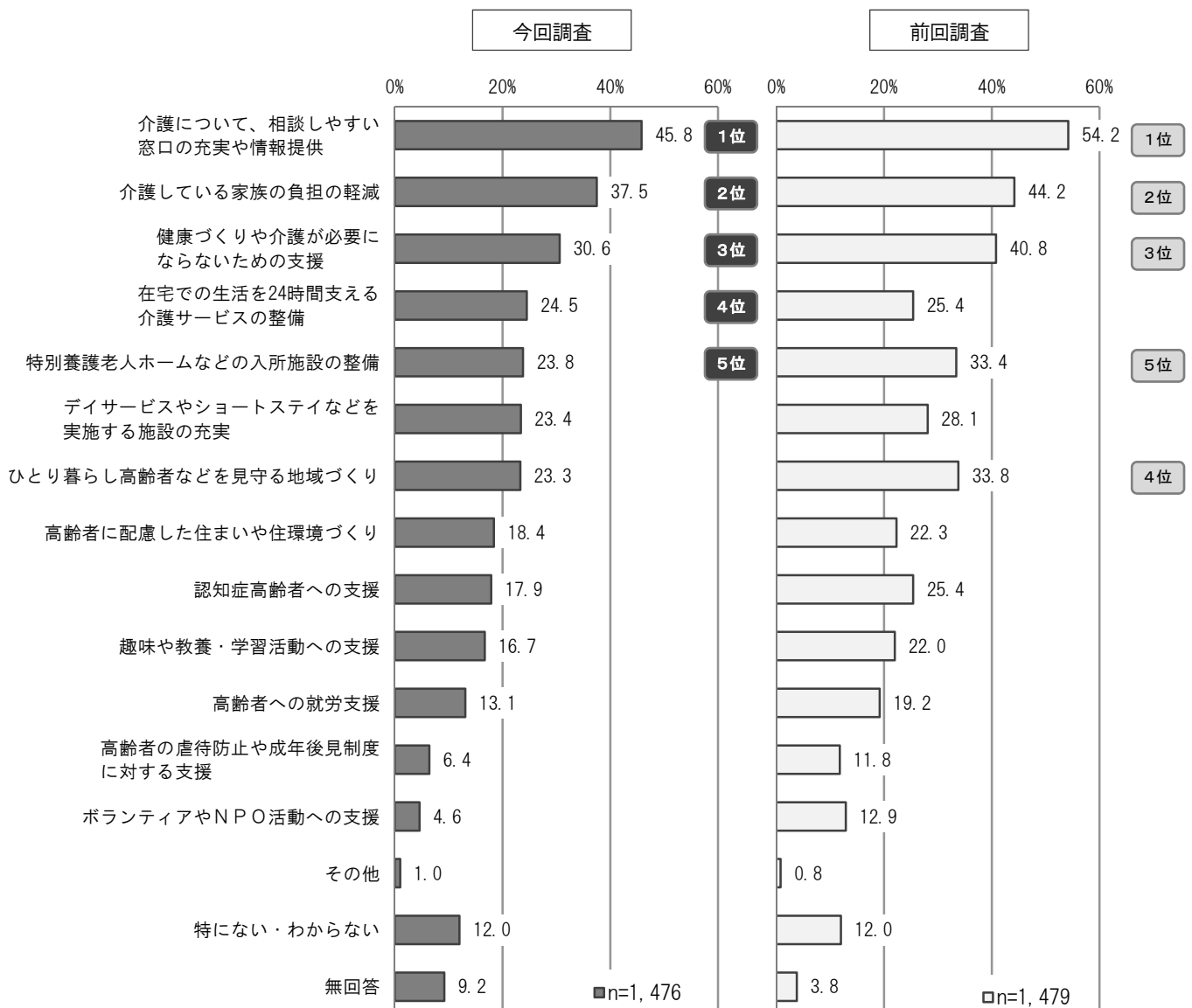
問 41 これからの高齢者福祉施策として、区に力を入れてもらいたいことは、次のうちどれですか。（あてはまるものすべてに○）

資料編：P237

▶ 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が45.8%

- ・経年比較では、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担軽減」「健康づくりや介護が必要にならないための支援」の上位3項目の変化はみられない。しかし、そのあとは「在宅での生活を24時間支える介護サービスの整備」が4位となり、前回調査の「特別養護老人ホームなどの入所施設の整備」から変動がある。
[図表 3-86]

図表 3-86 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）／経年比較



問 42 介護予防、介護保険制度、高齢者向けサービスなどに関して、意見等がありましたら、下の欄にご記入ください。

区への意見等は 225 件で、主な内容は以下のとおりである。

■ 介護保険制度について

- ・保険料の負担が大きい。これから先の金銭的な負担が不安だ。
- ・介護保険料は年金から引かれ、生活にとっても負担に思え、また他人事であったが、家族が世話になり、この保険を理解することができた。
- ・介護保険料も負担だが、介護を受ける際の費用も心配だ。核家族化で世話をしてくれる人も少なく、施設入所の費用負担ができない。家族の負担が少なくなる方法を考えてほしい。
- ・介護保険料の負担が大きい、介護サービスを利用していない人への対応も考えてほしい。
- ・介護保険は必要な人が使ってほしい。保険料がパンクしそうだと聞く。保険料が高くならないよう、若い人に負担がかからないよう考えるべきだ。
- ・高齢者にとって使い勝手の良い介護保険制度をお願いしたい。
- ・介護保険料を上げる前に、時間のある方は特養などのボランティアに参加してほしい。

■ 高齢者福祉サービス・介護保険サービスについて

- ・週 1 回 45 分のサービスを受けとても助かっている。生きていてよかったと思える一生を送りたい。
- ・親の介護をしている方が多く、その苦勞を察する。デイサービス、ショートステイの充実を望む。
- ・今は元気で要介護の生活がイメージできない。在宅を希望しているが、交流が無いと寂しく老人ホームの生活も楽しいように思う。自宅介護、老人ホームでの介護、両方とも充実をお願いしたい。
- ・地域包括支援センターを利用した。速やかに、丁寧な対応でありがたかった。

■ 健康づくり・介護予防について

- ・高齢者が介護を受けないですむ介護予防に力を入れてほしい。
- ・老いてくると心細いことが多くなる。安全なくらし、安心の見通しが持てるよう願う。介護予防に積極的に取り組んでいきたいとあらためて思った。
- ・自分は大丈夫だと考えていなかった。歳を重ねる事実と、これからの自分の体力を鍛えて、できるだけ迷惑かけないように生きたいと切望しているが、必要になったら高齢者サービスをお願いしたい。素晴らしい制度に守られ自分も努力をしていきたい。
- ・足が悪く遠くへは通えない。好きなことに取り組んだり、健康づくりの体操をしたり、おしゃべりなど、交流を持てる施設を近所に作ってほしい。
- ・介護予防の筋トレに参加し、続けている。教室がもっと近所にあると助かる。

■ 社会参加について

- ・元気な時から自分の老後を考え、いろいろな人と交流し、まちで助け合っていくまちづくりをお願いしたい。
- ・今健康で勤めをしており、特に必要に感じていない。勤めにより健康だと思う。
- ・今まで健康に過ごしてきたので、あまり介護について考えてこなかった。このアンケートと向き合い、これからは高齢者制度を勉強し、地域の行事等に参加して役に立てる感性を高めたい。
- ・生涯現役として働くことに満足を感じている。
- ・地域を見ると同居する家族が少なく、子供たちは仕事で忙しく、なかなかコミュニケーションが取れない。近くに気軽に立ち寄り、お茶やおしゃべりが出来る場所があるといい。
- ・健康づくりや生きがいを考えてほしい。生活はなんとかできるが、何かに参加することは高齢のため心配であり、参加方法が分からない。

■ 情報・相談

- ・「広報たいとう」などで高齢者にも分かりやすく、介護情報を特集してほしい。
- ・介護保険制度を知らない人が多い。必要が無いと知るチャンスが無い。たとえば町会単位で参加できる老人の施策の講習会(説明会)などを実施してほしい。
- ・介護保険制度を知らない人が多い。軽度の介護が必要な者に対し、早めに自立できるような手助けやサービスをし、重くならないようにしてほしい。
- ・高齢者向けの災害時の避難方法などの講演をしていただきたい。

■ その他

- ・現在認知症の主人と暮らしている。地域に友達がおらず、自分が認知になり自分のことができなくなった時が不安だ。
- ・現在義母を介護しており、自分のことどころではない。老老介護のため、災害時の避難や自分の健康が心配であり、ストレス解消方法も考えてほしい。
- ・これから先、不安がある。心配のない台東区で住み続けたい。
- ・年齢と共に衰えていくことは自然なこと。誰もが他力により最期を迎えるが、より人間らしくそこに至るまで、自力で善悪を判断したい。
- ・立ち退きを迫られたが高齢者に貸してくれる物件を探すのに苦労した。
- ・親4人を介護した。時間もなく、体も疲れる。お金もかかり心もくたくただ。妻だけではなく夫の介護参加も必要だ。